

## 1. 人口

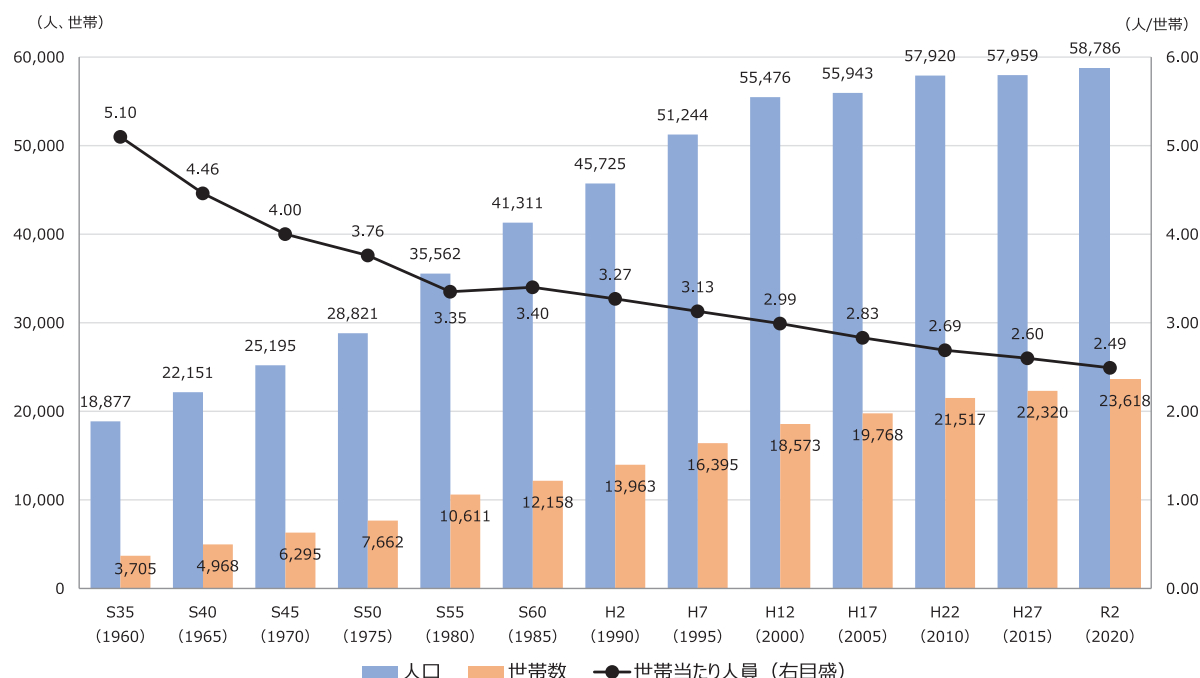
### 1-1. 人口・世帯数の推移

本市の人口は、昭和40年代から平成12(2000)年までは5ヶ年3,000人以上の増加が続き、その後は鈍化しましたが、現在も増加し続けています。

世帯数は、平成22(2010)年から平成27(2015)年の間を除き、5ヶ年1,000世帯以上の増加が続いています。

世帯当たり人員は、昭和40年代の4人台から低下を続け、人口増加が鈍化し始める平成12(2000)年には3人を下回り、令和2(2020)年には2.49人/世帯まで低下しています。

#### ▼人口・世帯数の推移



出典：国勢調査

#### ■人口・世帯数の推移と増減

	S35 (1960)	S40 (1965)	S45 (1970)	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
人口 (人)	18,877	22,151	25,195	28,821	35,562	41,311	45,725	51,244	55,476	55,943	57,920	57,959	58,786
増減	-	+3,274	+3,044	+3,626	+6,741	+5,749	+4,414	+5,519	+4,232	+467	+1,977	+39	+827
世帯数 (世帯)	3,705	4,968	6,295	7,662	10,611	12,158	13,963	16,395	18,573	19,768	21,517	22,320	23,618
増減	-	+1,263	+1,327	+1,367	+2,949	+1,547	+1,805	+2,432	+2,178	+1,195	+1,749	+803	+1,298

出典：国勢調査

## 1-2. 年齢階層別人口の推移

### (1) 年齢階層別人口の推移

昭和55（1980）年の割合が大きい年齢階層の順に見ると、まず、生産年齢人口（15～64歳）の割合は平成22（2010）年から人口が減少に転じましたが、平成22（2010）年まで66～68%の割合を維持していました。その後、平成27（2015）年で61.3%に減少し、さらに令和2（2020）年には58.0%と6割を下回りました。

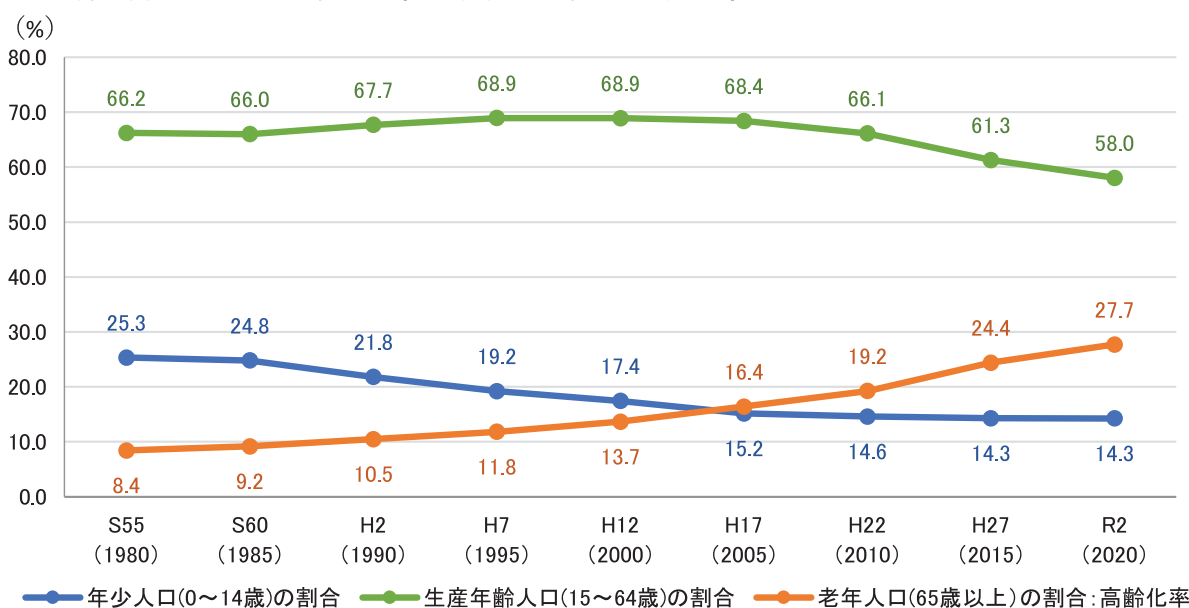
年少人口（0～14歳）の割合は緩やかな減少を続け、平成17（2005）年に老年人口（65歳以上）を下回った後、平成22（2010）年以降は14%台で横ばいとなっています。

なお、年少人口は長期間減少を続けてきましたが、平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけては35年振りに増加（+98人）しています。

老年人口の割合（以下「高齢化率」）は緩やかな上昇を続けてきましたが、徐々に上昇幅は増大しており、平成22（2010）年から平成27（2015）年にかけての+5.2ポイント（+2,989人）は過去最大の上昇幅となりました。

その後、平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけての上昇幅は+3.3ポイントと鈍化しましたが、高齢化率は27.7%となりました。

#### ▼年齢階層別人口の推移（年齢不詳を除いて算出）



出典：国勢調査

#### ■年齢階層別の人口推移と増減（年齢不詳を除いて算出）

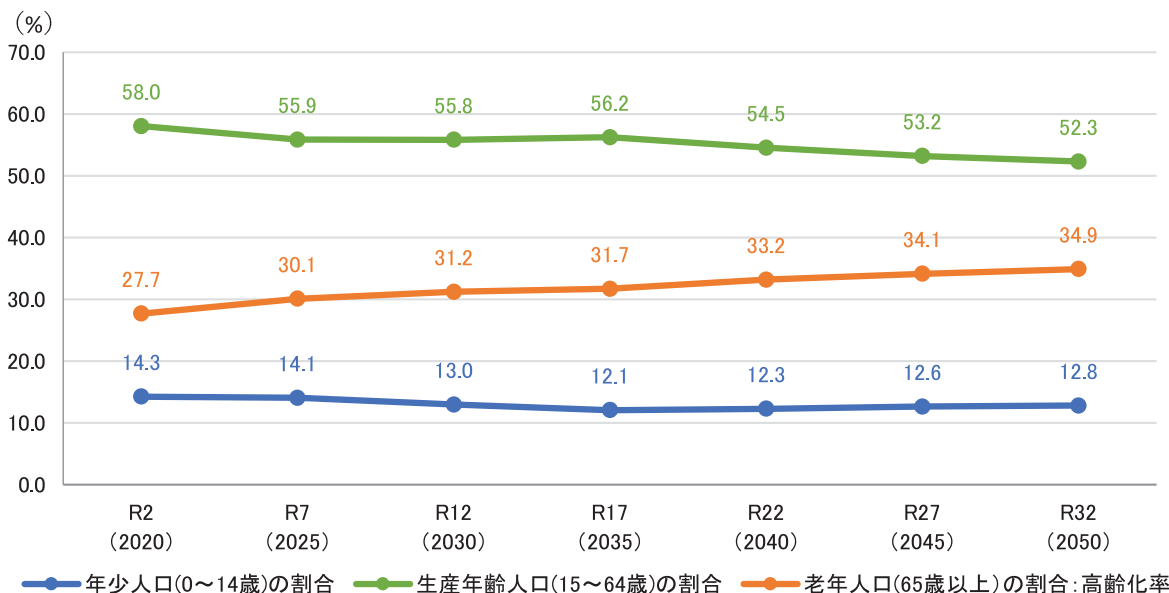
	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
年少人口(人)	9,006	10,244	9,974	9,849	9,661	8,484	8,450	8,266	8,364
増減	-	+1,238	-270	-125	-188	-1,177	-34	-184	+98
生産年齢人口(人)	23,544	27,273	30,939	35,306	38,150	38,267	38,263	35,455	34,049
増減	-	+3,729	+3,666	+4,367	+2,844	+117	-4	-2,808	-1,406
老年人口(人)	2,999	3,794	4,797	6,052	7,563	9,188	11,134	14,123	16,247
増減	-	+795	+1,003	+1,255	+1,511	+1,625	+1,946	+2,989	+2,124
上記計(人)	35,549	41,311	45,710	51,207	55,374	55,939	57,847	57,844	58,660
増減	-	+5,762	+4,399	+5,497	+4,167	+565	+1,908	-3	+816

出典：国勢調査

## (2) 年齢階層別人口の見通し

一方、社人研による将来推計人口によると、今後、生産年齢人口は減少を続け、老年人口は増加を続ける予測となっています。年少人口については、令和 17 (2035) 年以降に微増する時期もあるなど、本計画の目標年次前後での減少鈍化が見られます。

### ▼年齢階層別人口の推計



出典：国勢調査（年齢不詳を除く）、社人研による令和 5 年 12 月 22 日公表値

### ■年齢階層別人口の推計と増減

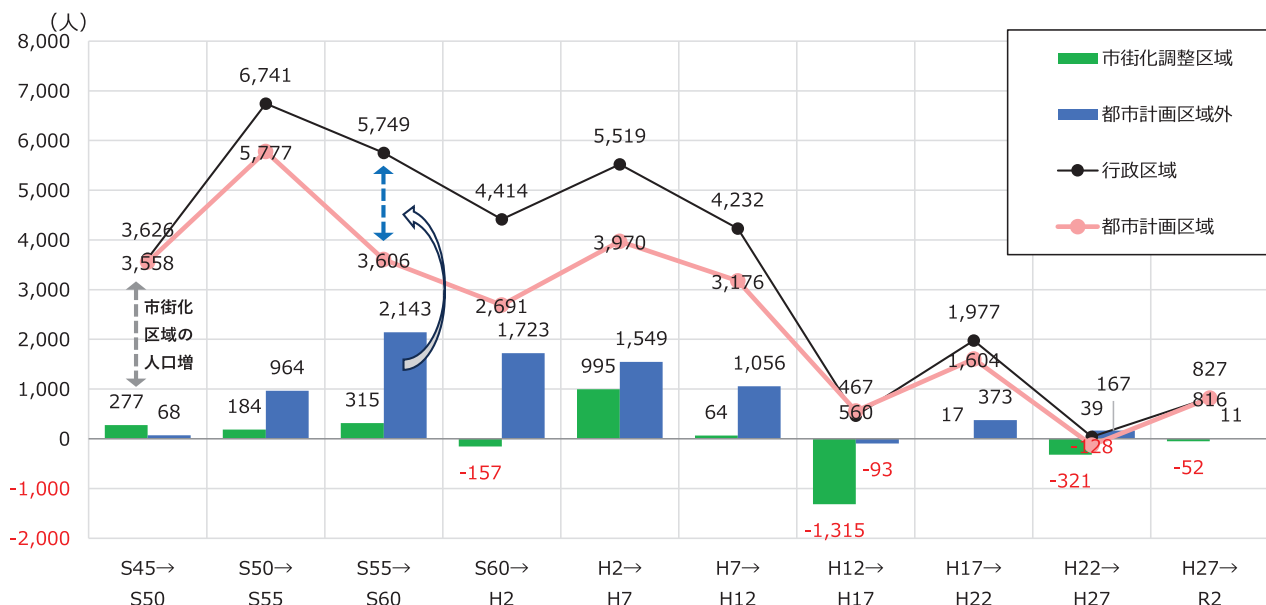
	国勢調査	社人研推計値						増減計	R2~32 増減率
		R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)		
年少人口(人)	8,364	8,145	7,456	6,849	6,862	6,939	6,906	-	-
増減	-	-219	-689	-607	+13	+77	-33	-1,458	-17.4%
生産年齢人口(人)	34,049	32,375	32,073	31,899	30,444	29,202	28,217	-	-
増減	-	-1,674	-302	-174	-1,455	-1,242	-985	-5,832	-17.1%
老年人口(人)	16,247	17,437	17,938	17,988	18,525	18,737	18,827	-	-
増減	-	+1,190	+501	+50	+537	+212	+90	+2,580	+15.9%
上記計(人)	58,660	57,957	57,467	56,736	55,831	54,878	53,950	-	-
増減	-	-703	-490	-731	-905	-953	-928	-4,710	-8.0%

出典：国勢調査（年齢不詳を除く）、社人研による令和 5 年 12 月 22 日公表値

### 1-3. 区域別人口の推移

本市は市街化区域を中心に人口増加を続けてきましたが、特に平成17（2005）年以前は、都市計画区域外や市街化調整区域の人口増加が大きかったことも特徴です。

#### ▼区域別の人口増減



※グラフ中、市街化区域人口の増減は、都市計画区域と市街化調整区域の差を示しています。

出典：国勢調査、都市計画基礎調査

#### ■区域別の人口推移

	S45 (1970)	S50 (1975)	S55 (1980)	S60 (1985)	H2 (1990)	H7 (1995)	H12 (2000)	H17 (2005)	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)
行政区域	25,195	28,821	35,562	41,311	45,725	51,244	55,476	55,943	57,920	57,959	58,786
都市計画区域	22,965	26,523	32,300	35,906	38,597	42,567	45,743	46,303	47,907	47,779	48,595
市街化区域	18,326	21,607	27,200	30,491	33,339	36,314	39,426	41,301	42,888	43,081	43,949
市街化調整区域	4,639	4,916	5,100	5,415	5,258	6,253	6,317	5,002	5,019	4,698	4,646
都市計画区域外	2,230	2,298	3,262	5,405	7,128	8,677	9,733	9,640	10,013	10,180	10,191

出典：国勢調査、都市計画基礎調査

区域別に見ると、市街化区域では、花鶴丘や舞の里などの大規模団地開発により昭和50年代から急激に人口が増加し、平成17（2005）年に40,000人を超えました。その後は増加が鈍化したものの、令和2（2020）年で43,949人となっています。

市街化調整区域では、昭和60（1985）年から平成2（1990）年の間を除き、既存宅地の開発や福祉施設建設などによって増加が続き、平成12（2000）年で最多の6,317人となりました。その後、平成13（2001）年の線引き見直しによって約1,300人が市街化区域人口に編入され、令和2（2020）年で4,646人となっています。

準都市計画区域を含む都市計画区域外では、主要地方道筑紫野・古賀線や国道3号など幹線道路の整備が進んだことにより、都市化の圧力を受け、小規模な開発が多く行われました。都市計画区域外人口は、平成12（2000）年の9,733人まで急激に増加し、その後は微減・微増し、令和2（2020）年で10,191人となっています。

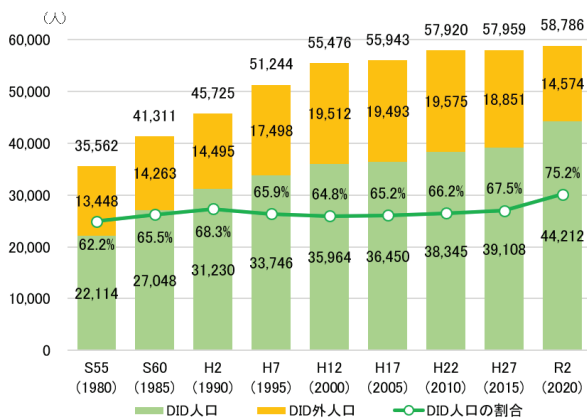
### 1-4. 人口集中地区 (DID) の推移

DID面積は、昭和55（1980）年から平成2（1990）年にかけて拡大した範囲を基本に、平成27（2015）年まで6km<sup>2</sup>前後で微増を続けました。その後、平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけて、千鳥東地区や今在家地区を含む8.0km<sup>2</sup>となりました。

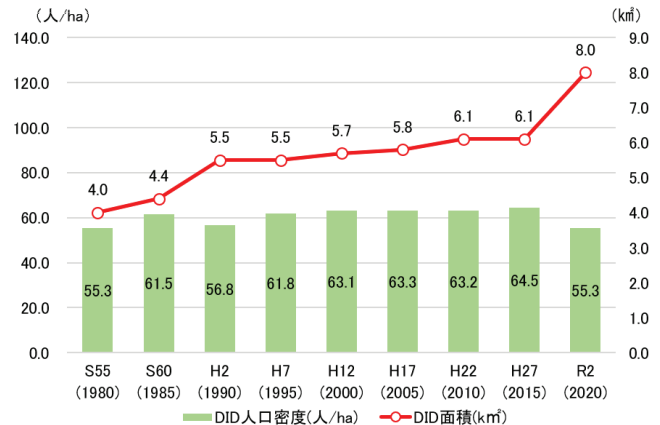
DID人口も増加を続け、令和2（2020）年で44,212人となっており、全市人口58,786人の75.2%を占めています。

DID人口密度は、平成7（1995）年から平成27（2015）年まで60人/ha以上で微増を続けた後、令和2（2020）年に減少し55.3人/haとなりました。これは、工業系の土地利用がなされ、人口密度の低い今在家地区がDIDに編入されたことによるものです。

▼DID 人口及び割合の推移

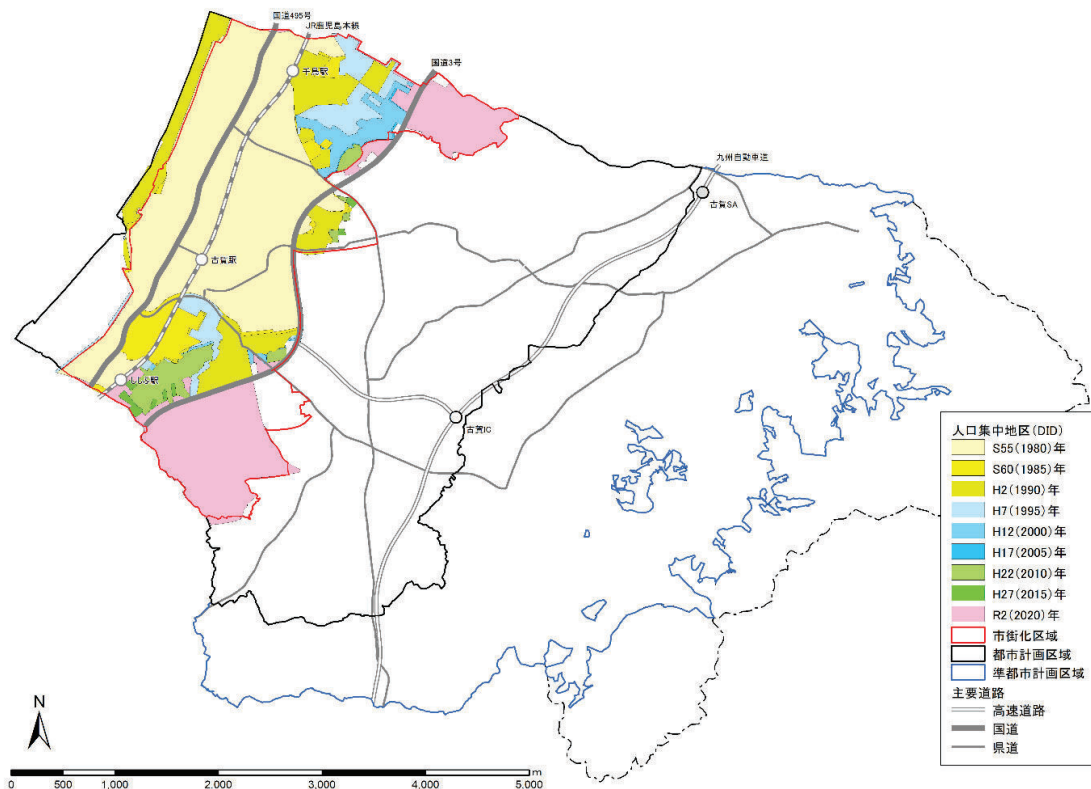


▼DID 面積及び人口密度の推移



出典：国勢調査

▼DID の変遷



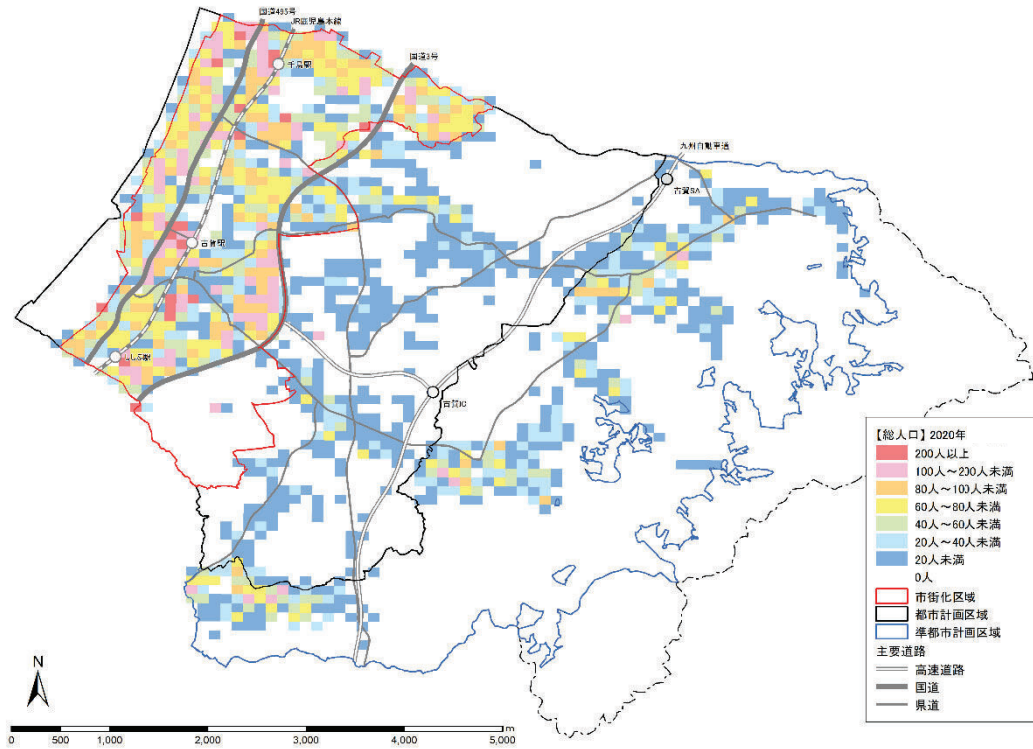
※凡例の年次順に上下に重なっているため、当該年次で拡大した箇所が見える状態です。

出典：国土数値情報、令和2（2020）年のみ e-Stat

# 1-5. 現状及び目標年次近傍の人口分布（100mメッシュ）

## (1) 総人口：令和 2（2020）年

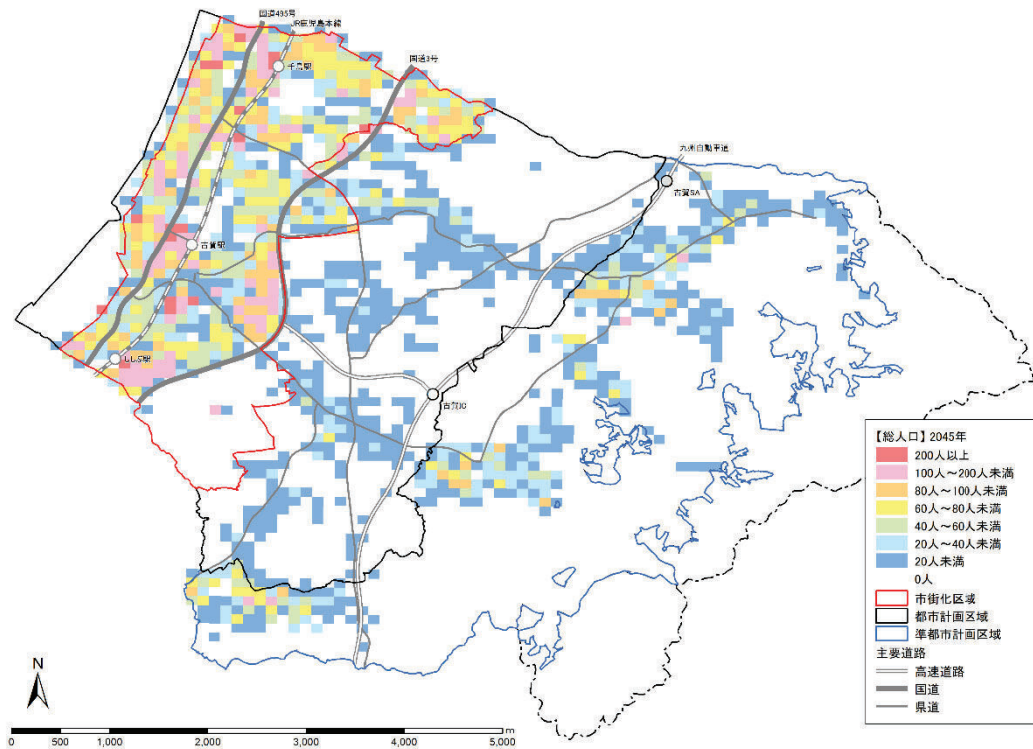
▼令和 2（2020）年の総人口



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査

## (2) 総人口：令和 27（2045）年

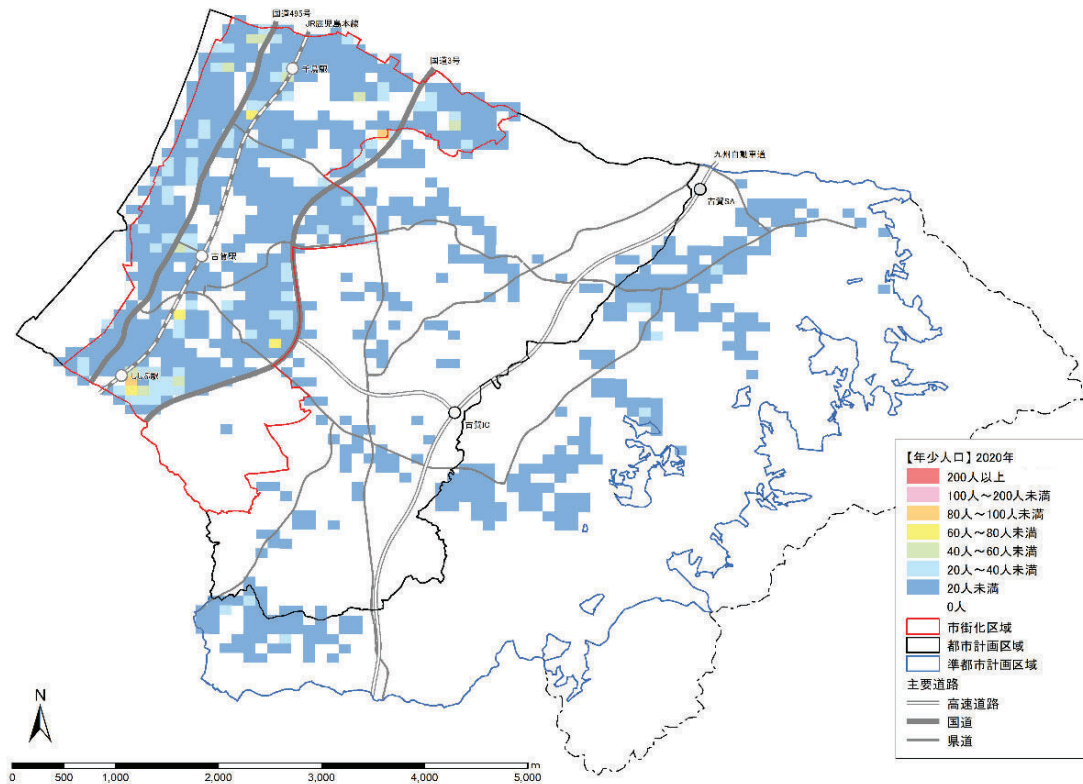
▼令和 27（2045）年の総人口（推計）



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

### (3) 年少人口 (0~14 歳) : 令和 2 (2020) 年

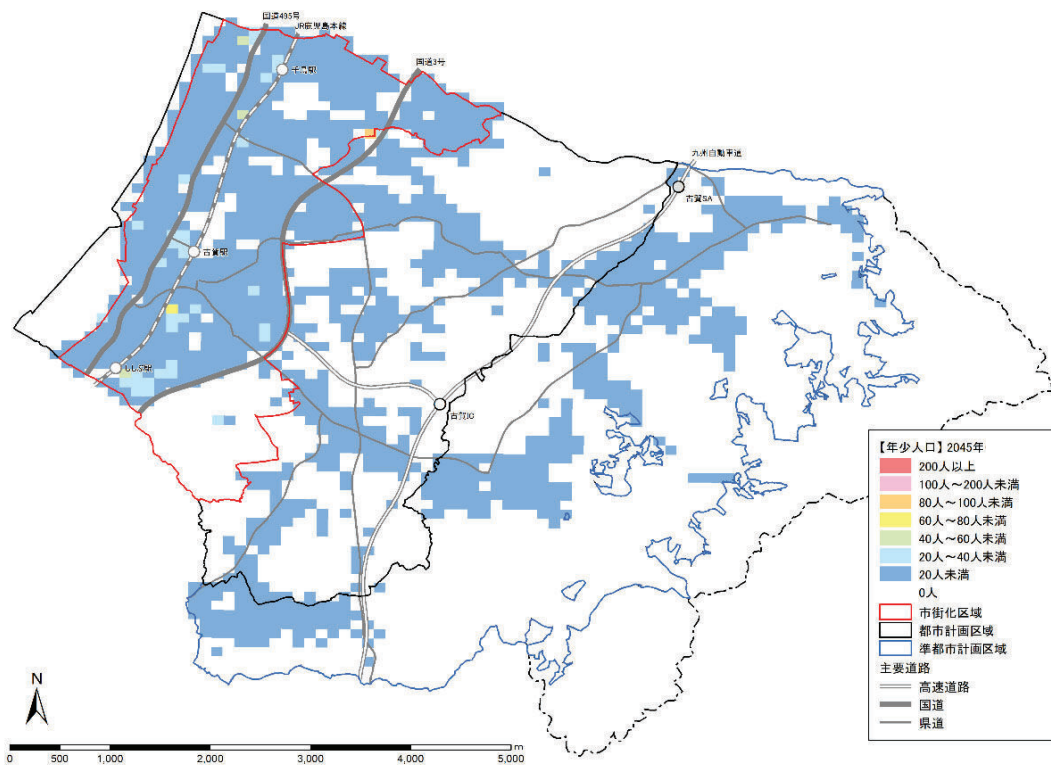
▼令和 2 (2020) 年の年少人口



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査

### (4) 年少人口 (0~14 歳) : 令和 27 (2025) 年

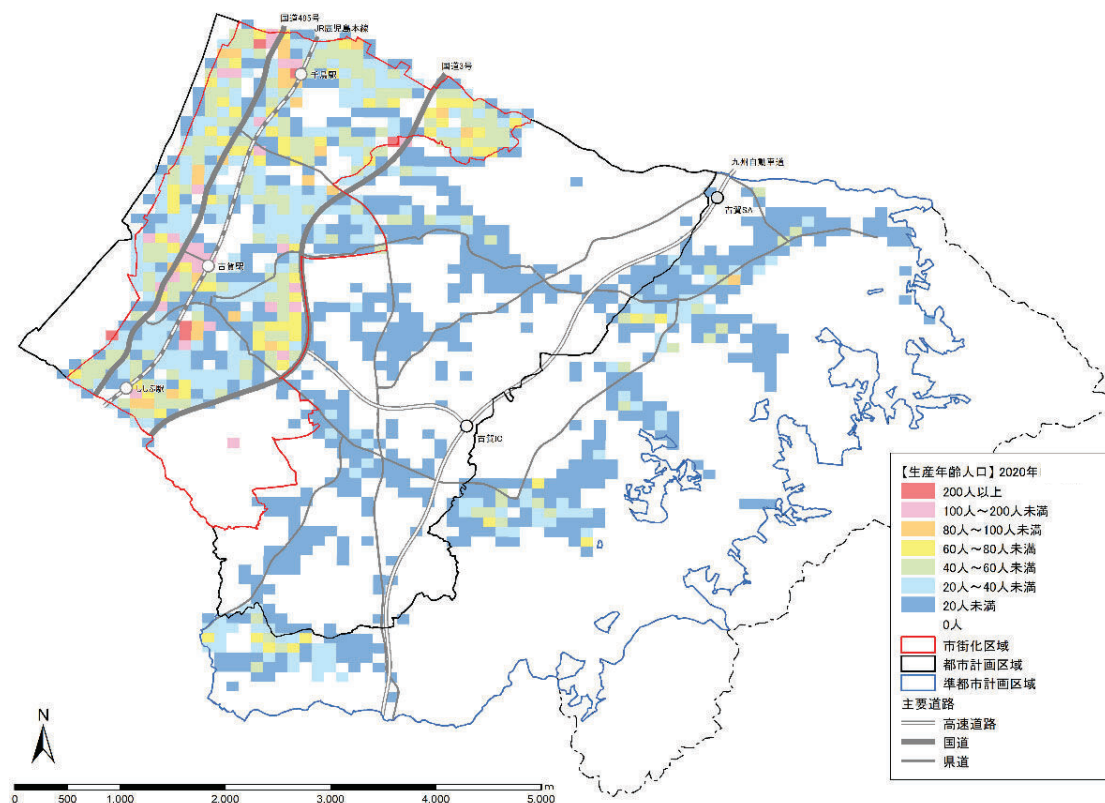
▼令和 27 (2025) 年の年少人口 (推計)



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査、国土数値情報 (R5 国政局推計)

### (5) 生産年齢人口 (15~64 歳) : 令和 2 (2020) 年

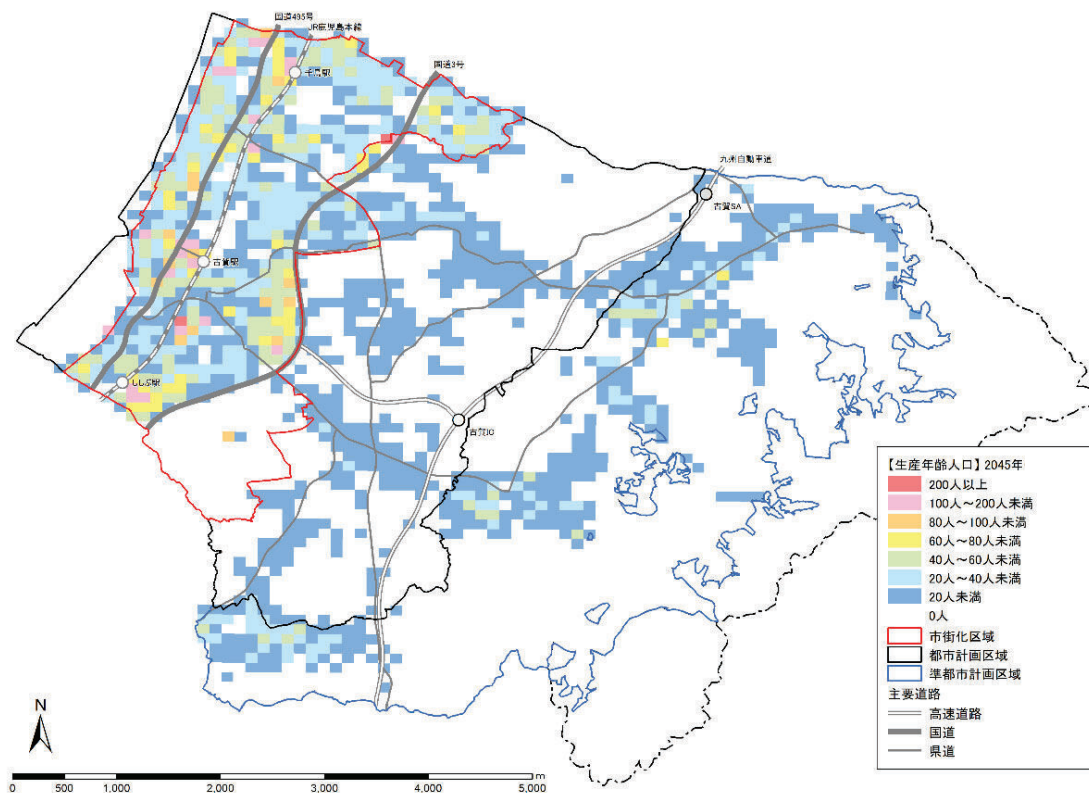
▼令和 2 (2020) 年の生産年齢人口



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査

### (6) 生産年齢人口 (15~64 歳) : 令和 27 (2045) 年

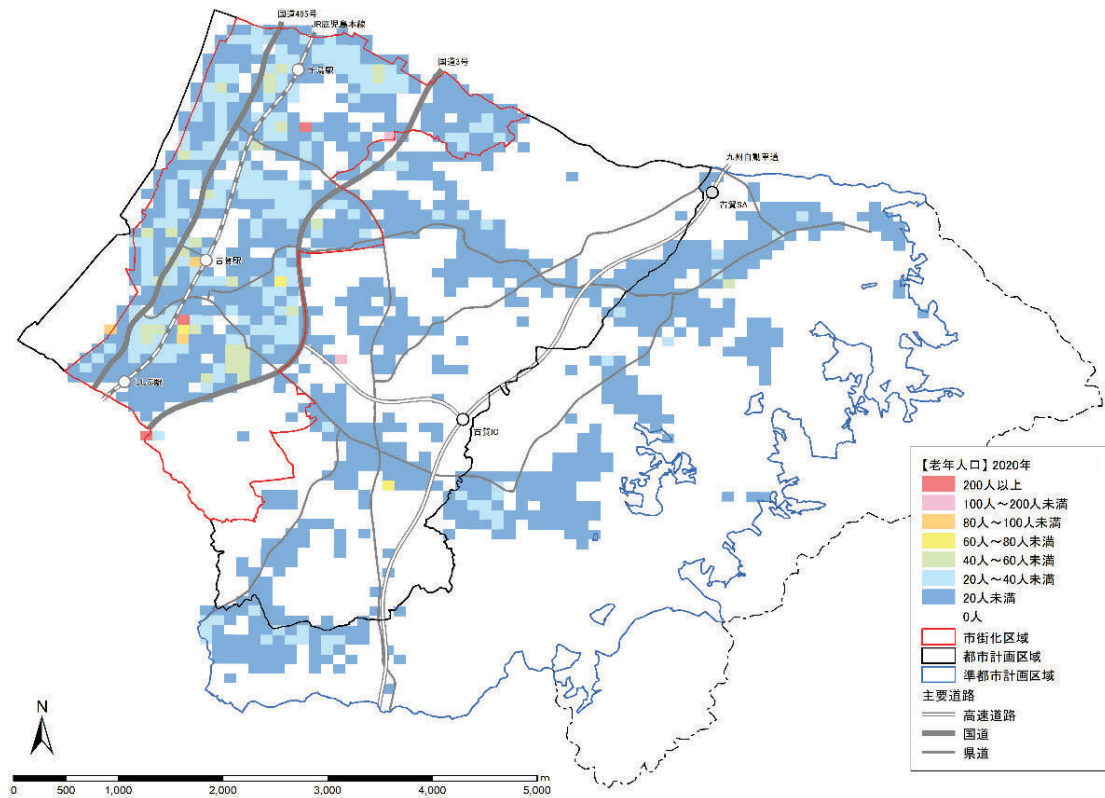
▼令和 27 (2045) 年の生産年齢人口



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査、国土数値情報 (R5 国政局推計)

### (7) 老年人口 (65 歳以上) : 令和 2 (2020) 年

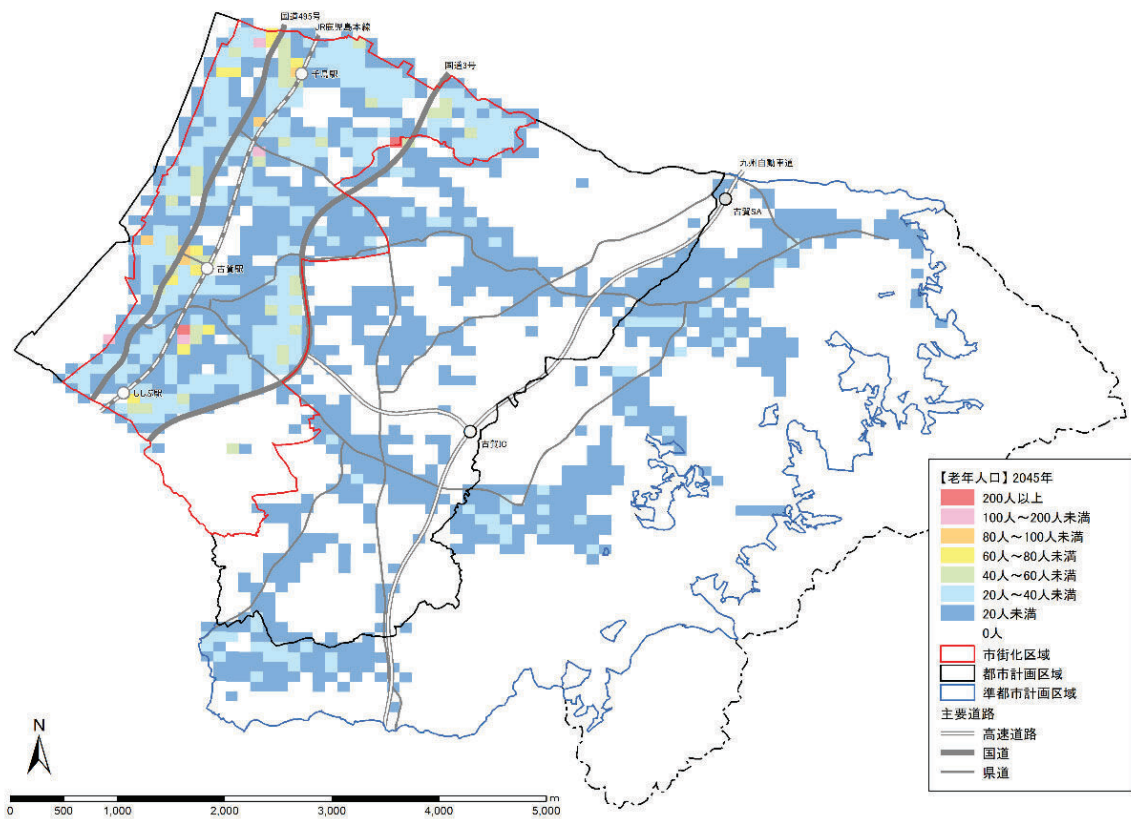
▼令和 2 (2020) 年の老年人口



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査

### (8) 老年人口 (65 歳以上) : 令和 27 (2045) 年

▼令和 27 (2045) 年の老年人口 (推計)



出典：住民基本台帳、令和 2 年国勢調査、国土数値情報 (R5 国政局推計)

## 2. 土地利用

### 2-1. 土地利用

#### (1) 土地利用現況

海岸部は、市街化調整区域や防風保安林及び玄海国定公園に指定されており、日本海側特有の白砂とクロマツの松原により良好な景観が形成されているとともに、市民の貴重な憩いの場となっています。

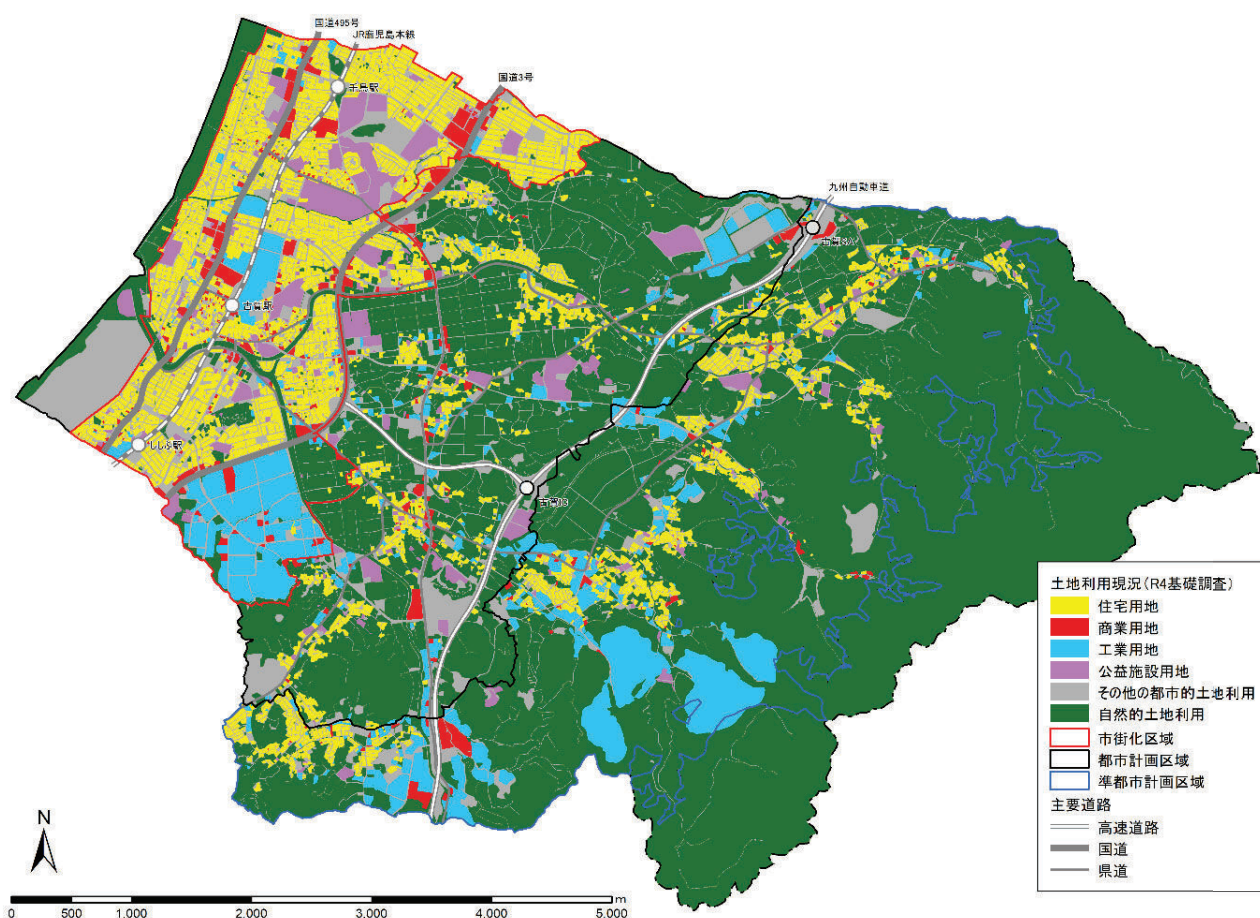
市域の西部には広域交通を担うJR鹿児島本線、国道3号、国道495号が縦断しており、その周辺部には住宅を中心とした市街地が形成され、市域南西部には大規模な工業団地が立地しています。

市域中央部に広がる平野から丘陵地にかけては、農地が広がり集落が形成されています。また、都市計画区域外の小野校区や青柳校区の町川原2区、小竹区などでは小規模な密集住宅地や工場・倉庫が立地し、用途の混在が見られます。

市域の東部では、国有林や水源かん養保安林としてスギを中心とした針葉人工樹林や照葉樹林が広がるとともに、薬王寺温泉、興山園、薬王寺水辺公園などの観光資源も多く存在しています。

市全域には、河川やため池などの水辺空間が点在するほか、古賀グリーンパーク、千鳥ヶ池公園、鹿部山公園、岳越山公園などの公園や市内各所の神社仏閣は、貴重な緑地空間となっています。

#### ▼土地利用現況：令和4（2022）年



出典：都市計画基礎調査

## (2) 都市的土地利用の動向

平成29（2017）年から令和4（2022）年にかけて、都市的土地利用は、行政区域全体で82.8ha増加しています。その7割を宅地が占め、うち工業用地の増加が36.1haと大きい状況です。

次いで都市計画区域の都市的土地利用を見ると、61.1ha増加しており、うち工業用地の増加が22.7haと大きい状況です。工業用地については、既存工場団地等への企業進出が進むとともに玄望園への工場立地が始まったことが要因です。

準都市計画区域においても、都市計画区域と同様の傾向が見受けられ、都市的土地利用が19.3ha増加しており、うち工業用地の増加が11.3haです。

都市計画区域外（準都市計画区域以外）での都市的土地利用の増加は2.4haと小さいものの、工業用地の増加がほとんどを占めています。

### ■土地利用面積の変化

		都市的土地利用						自然的 土地利用	合計	
		住宅用地	商業用地	工業用地	宅地小計	その他	計	計		
H29 (2017)	市街化区域	306.3	43.3	104.0	453.5	295.7	749.2	55.8	805.0	
	市街化調整区域	94.6	13.6	33.2	141.3	331.7	473.0	942.0	1,415.0	
	都市計画区域 計	400.8	56.9	137.1	594.9	627.4	1,222.2	997.8	2,220.0	
	準都市計画区域	106.3	14.8	139.0	260.1	162.0	422.1	1,048.9	1,471.0	
	都市計画区域外	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	513.0	516.0	
	行政区域 計	507.2	71.6	276.1	854.9	792.4	1,647.3	2,559.7	4,207.0	
R4 (2022)	市街化区域	315.7	47.2	108.3	471.2	295.0	766.2	71.8	838.0	
	市街化調整区域	96.3	17.8	51.5	165.6	351.5	517.1	864.9	1,382.0	
	都市計画区域 計	412.0	65.0	159.8	636.8	646.5	1,283.3	936.7	2,220.0	
	準都市計画区域	112.6	15.4	150.3	278.3	163.1	441.4	1,029.6	1,471.0	
	都市計画区域外	0.0	0.0	2.1	2.1	3.3	5.4	510.6	516.0	
	行政区域 計	524.6	80.4	312.2	917.2	812.9	1,730.1	2,476.9	4,207.0	
H29 ↓ R4 増減 (ha)	市街化区域	+9.4	+3.9	+4.3	+17.7	-0.7	+17.0	+16.0	+33.0	
	市街化調整区域	+1.7	+4.2	+18.3	+24.3	+19.9	+44.1	-77.1	-33.0	
	都市計画区域 計	+11.2	+8.1	+22.7	+42.0	+19.1	+61.1	-61.1	拡大	+0.0
	準都市計画区域	+6.3	+0.6	+11.3	+18.2	+1.1	+19.3	-19.3	等	-0.0
	都市計画区域外	+0.0	+0.0	+2.1	+2.1	+0.3	+2.4	-2.4	なし	-0.0
	行政区域 計	+17.4	+8.8	+36.1	+62.3	+20.5	+82.8	-82.8	なし	+0.0

※市街化区域・調整区域は当該年次の値

出典：都市計画基礎調査

## 2-2. 建物件数の推移（新築動向）

新築動向について、1950年代以降の市全体20,009件の9割近くが住居系（17,687件）で、その6割以上を昭和45（1970）～平成2（1990）年代の市街化区域（11,168件）が占めます。同時期は、人口増加が著しかった時期であり、準都市計画区域（当時は都市計画区域外）の住居系（2,800件）の新築が多く、市全体で年平均300～500件が建築されていた状況です。

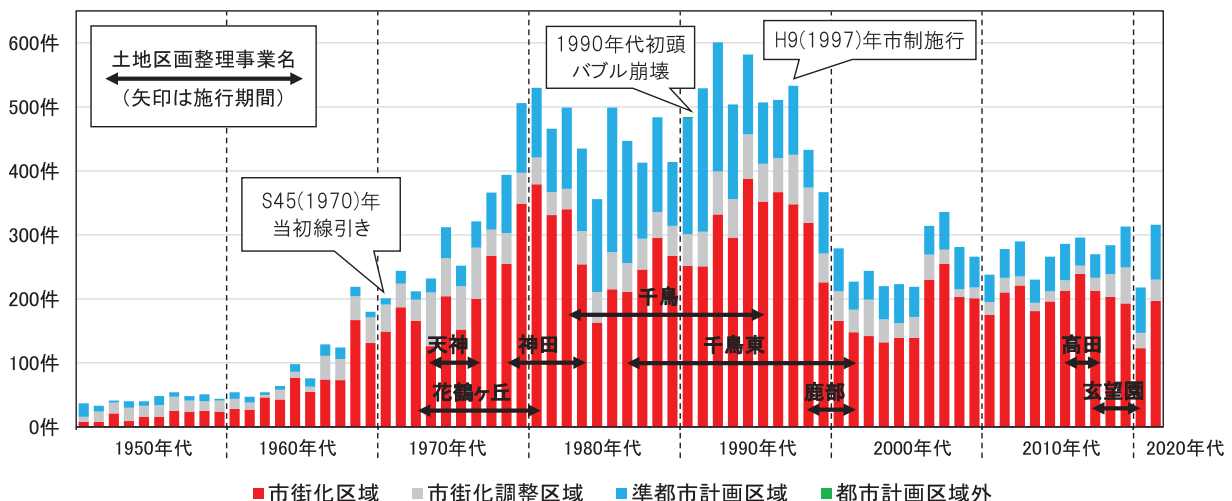
昭和45（1970）～平成2（1990）年代は花鶴ヶ丘や千鳥・千鳥東（舞の里地区）、2000年代以降は鹿部（美明地区）や高田（美郷地区）において、土地区画整理事業が進行しており、新築増加の大きな要因と考えられます。

■ 区域別・用途別・建築時期別の建物件数（昭和25（1950）年代以降）

		S25~34 (1950年代)	S35~44 (1960年代)	S45~54 (1970年代)	S55~H1 (1980年代)	H2~11 (1990年代)	H12~21 (2000年代)	H22~R1 (2010年代)	R2(2020) ・R3(2021)	計
市街化区域 (件)	住居系	161	657	1,885	2,485	2,783	1,566	1,897	299	11,733
	商業系	7	14	56	84	145	85	67	10	468
	工業系	6	37	58	75	110	50	30	1	367
	その他	2	13	56	57	93	54	50	10	335
	計	176	721	2,055	2,701	3,131	1,755	2,044	320	12,903
市街化調整区域 (件)	住居系	162	186	453	344	418	245	187	48	2,043
	商業系		5	12	17	58	19	20	2	133
	工業系	1	7	41	39	44	25	4	6	167
	その他	5	12	35	49	68	31	16	1	217
	計	168	210	541	449	588	320	227	57	2,560
準都市計画区域 (件)	住居系	87	99	392	1,287	1,121	429	354	142	3,911
	商業系	2	5	12	23	65	38	41	5	191
	工業系	2	4	24	67	116	50	60	9	332
	その他	1	6	16	16	29	17	25	1	111
	計	92	114	444	1,393	1,331	534	480	157	4,545
都市計画区域外 (件)	住居系	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	商業系	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	工業系	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	0	0	0	0	0	0	0	1
行政区計 (件)	住居系	410	942	2,730	4,116	4,322	2,240	2,438	489	17,687
	商業系	9	24	80	124	268	142	128	17	792
	工業系	9	48	123	181	270	125	94	16	866
	その他	9	31	107	122	190	102	91	12	664
	計	437	1,045	3,040	4,543	5,050	2,609	2,751	534	20,009
計年平均		44	105	304	454	505	261	275	267	143

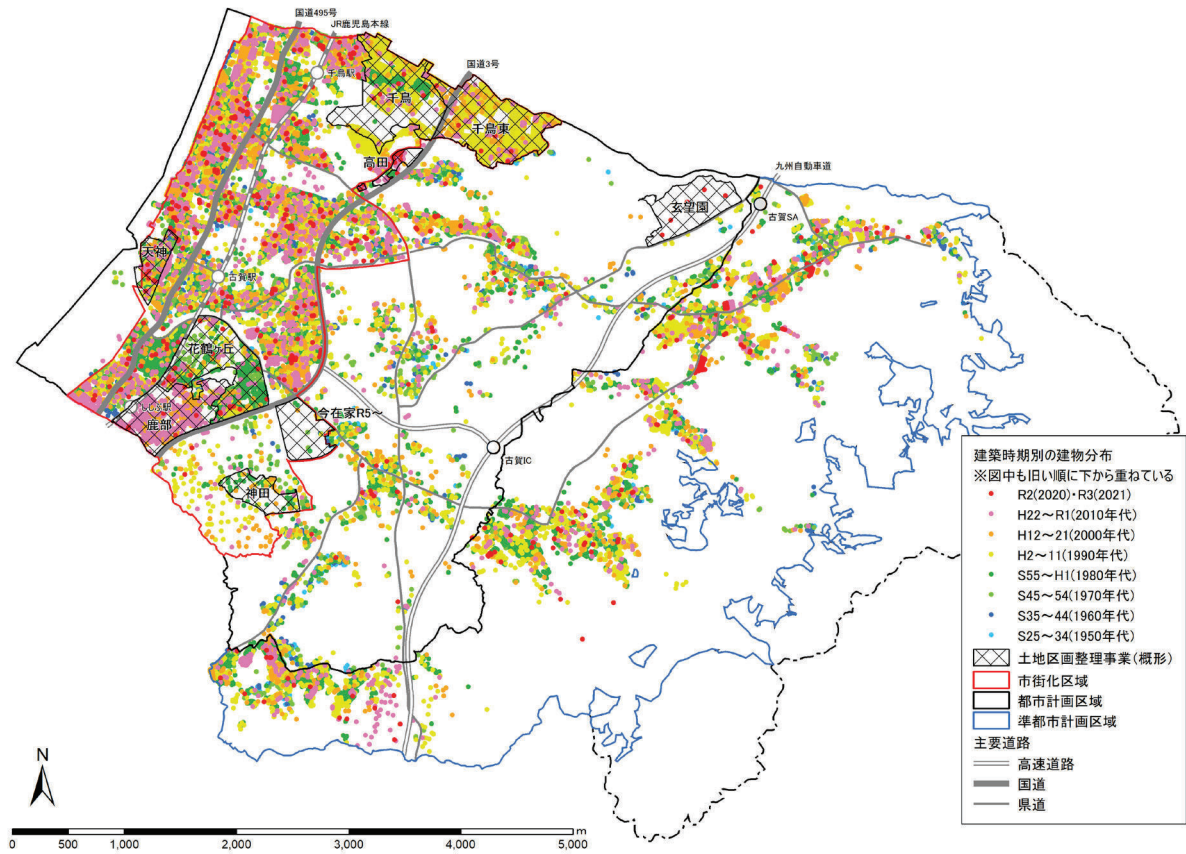
※現行の市街化区域等による集計  
出典：都市計画基礎調査

■ 区域別・建築年別の建物件数（昭和25（1950）年代以降）



出典：都市計画基礎調査、古賀市の都市計画

▼建築時期別の建物分布 (昭和 25 (1950) 年代以降)



※現行の市街化区域等による集計

出典：都市計画基礎調査

## 2-3. 空き地・空き家の状況

古賀市空家等対策計画における平成27（2015）年から令和2（2020）年にかけての調査結果を見ると、一戸建ての空家の総数は632戸から712戸へと80戸増加しており、その内訳は、空家解消447戸、継続空家185戸、新たな空家527戸となっています。

また、3つに区分した区域のうち、空家が減少したのは市街化区域のみとなっています。その内訳を見ると、空家解消320戸、継続空家107戸、新たな空家295戸という動的な結果であり、単純な減少（解消）でないことが伺えます。

### ■一戸建ての空家数：平成27（2015）年から令和2（2020）年の変化

		H27 空家数	R2までに 空家解消	R2でも 継続空家	R2での新 たな空家	R2 空家数	H27⇒R2 増減数
市街化区域	駅東、糸ヶ浦、花見南、花見東、花鶴丘、今の庄、日吉、舞の里、千鳥、中央、天神、美明、新久保	427戸	320戸	107戸	295戸	402戸	-25戸
市街化調整区域 を含む地域	新原、今在家、川原、青柳町、青柳、籬内、庄、久保、鹿部、古賀、美郷	108戸	57戸	51戸	137戸	188戸	+80戸
都市計画区域外	薦野、米多比、薬王寺、小山田、谷山、小竹	97戸	70戸	27戸	95戸	122戸	+25戸
計		632戸	447戸	185戸	527戸	712戸	+80戸

出典：古賀市空家等対策計画（令和4年改定版）

## 2-4. 土地利用計画

令和7年度に策定された古賀市都市計画マスタープランにおいて、将来的な人口減少や少子高齢化対策の一部として、市街地に市内外からの新たな居住者を呼び込み、人口密度の確保につなげるために、JR古賀駅周辺の開発等を位置付けています。

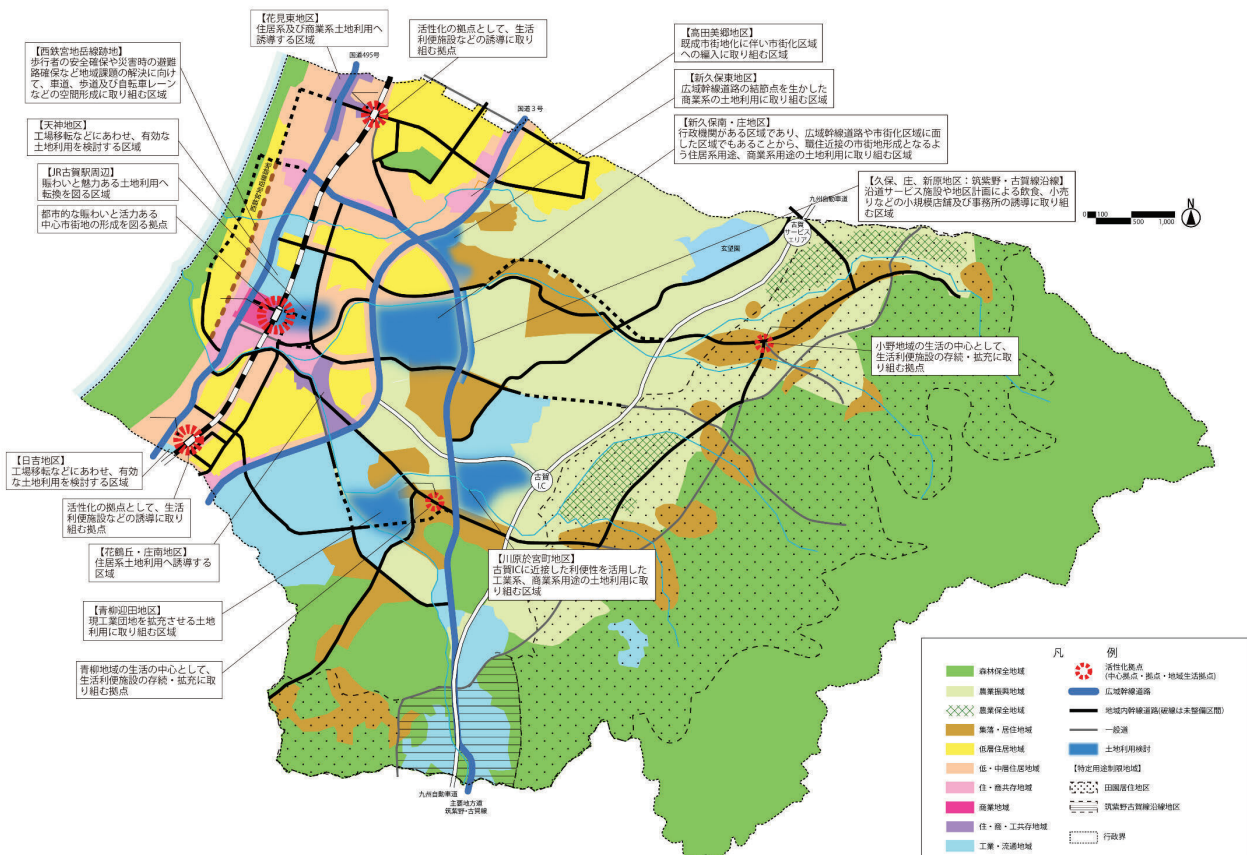
### 《市街化区域の主な方針》

- 低・未利用地における土地区画整理事業などの面的整備や、JR古賀駅周辺市街地の高度利用
- 既存住宅地の空き家・空き地の活用などにより計画的・効率的に人口集積を図る
- 市全体として産業と住環境とのバランスが取れた土地利用
- JR各駅を拠点と位置づけ、アクセス道路など周辺整備を進め交通結節機能の強化を図る

### 《土地利用検討箇所》

- ① JR古賀駅周辺の開発（市街化区域）
- ② 青柳迎田周辺の開発（市街化調整区域）
- ③ 新久保南・庄地区の開発（市街化調整区域）
- ④ 古賀IC周辺（川原於宮町）の開発（市街化調整区域）

### ▼古賀市都市計画マスタープラン：土地利用方針図



### 3. 都市交通

#### 3-1. 公共交通網と利用者数

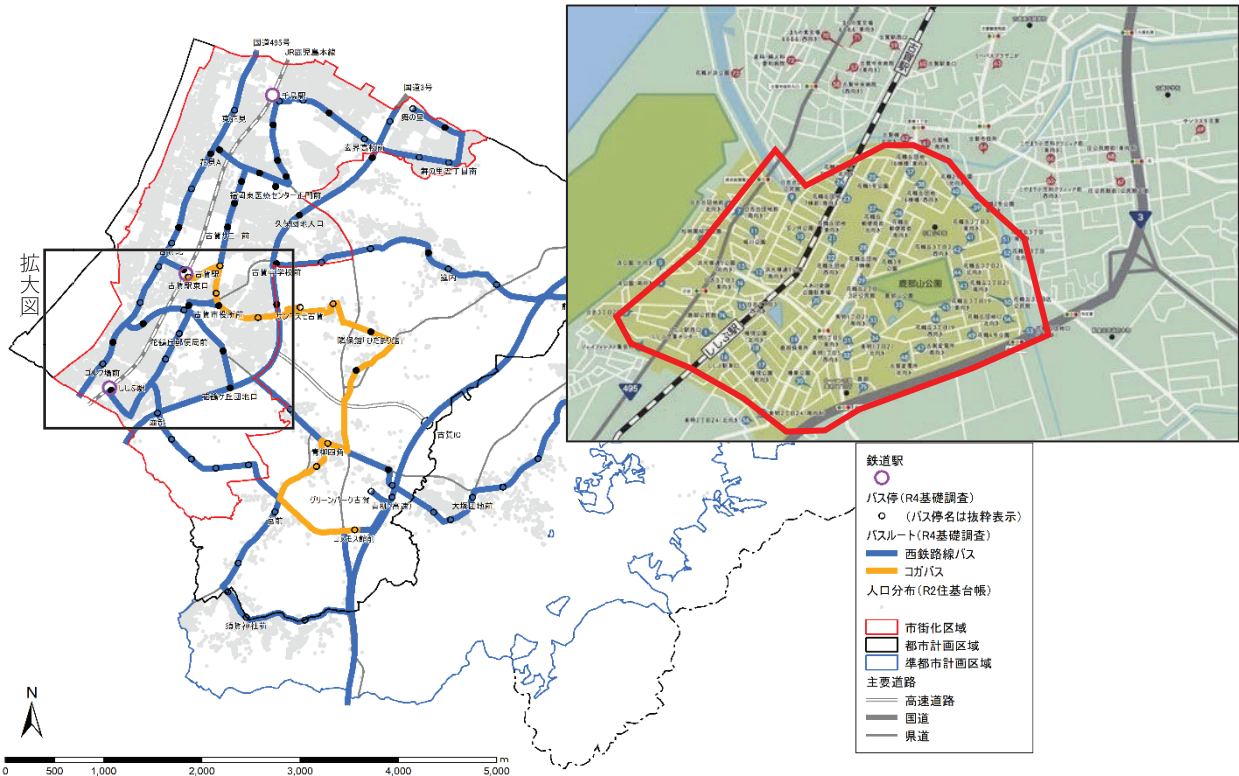
本市の公共交通機関のうち、鉄道はJR鹿児島本線が市街化区域中央を縦断し、北から順に千鳥駅、古賀駅、ししぶ駅の3駅があります。

定期運行バスは、西鉄路線バスと、本市が平成30年度に導入したコガバス（公共施設等連絡バス）があり、コガバスは、西鉄路線バスを補完するルートで平日のみ運行しています。（古賀駅東口～リーパスプラザこが～市役所～サンコスモ古賀～隣保館「ひだまり館」～コスモス館）

また、令和4年度にはAIオンデマンドバス「のるーと古賀」も導入し、行先の自由度が高い交通手段として市民に親しまれています。乗降場は地面シール型のミーティングポイントで、花鶴丘・日吉・美明エリアと古賀駅等に約75箇所配置しています。

#### ▼公共交通網（鉄道・定期運行バス）：令和6（2024）年2月

のるーと古賀 ミーティングポイント設置範囲図



出典：古賀市地域公共交通計画（令和7（2025）年6月改訂）

市内3駅の1日平均乗車人員は、コロナ禍の影響が少ない令和元年度までを見ると、千鳥駅が3,800人前後、古賀駅が6,800人前後、ししぶ駅が1,500人前後です。

コロナ禍の影響が大きかった令和2年度における乗車人員は、各駅で大幅に減少していますが、その後の令和3～4年度は徐々に回復している状況が見られます。

#### ■ 鉄道駅の1日平均乗車人員の推移（年度集計）

	H28 (2016)	増減	H29 (2017)	増減	H30 (2018)	増減	R元 (2019)	増減	R2 (2020)	増減	R3 (2021)	増減	R4 (2022)
千鳥駅(人/日)	3,934	-20	3,914	-100	3,814	-38	3,776	-737	3,039	+95	3,134	+67	3,201
古賀駅(人/日)	6,662	+125	6,787	+77	6,864	-56	6,808	-1,376	5,432	+242	5,674	+334	6,008
ししぶ駅(人/日)	1,411	+91	1,502	+90	1,592	+25	1,617	-242	1,375	+95	1,470	+15	1,485

出典：駅別乗車人員（九州旅客鉄道）

西鉄路線バスの乗降客数は、市内の国道3号を經由して福岡市と宗像市方面を結ぶ「特急むなかた号・急行」と、同じく国道495号經由の「26・26A系統」が突出して多く、令和3（2021）年度でそれぞれ4,559人/日、3,469人/日です。ただし、コロナ禍の影響もあり、乗降客数・運行本数ともに平成29（2017）年から大きく減少しています。

他の路線も概ね同様に減少していますが、古賀駅と市南部を結ぶ「⑥小竹系統（グリーンパーク古賀方面）」は、運行本数減にも関わらず乗降客数は増加しています。

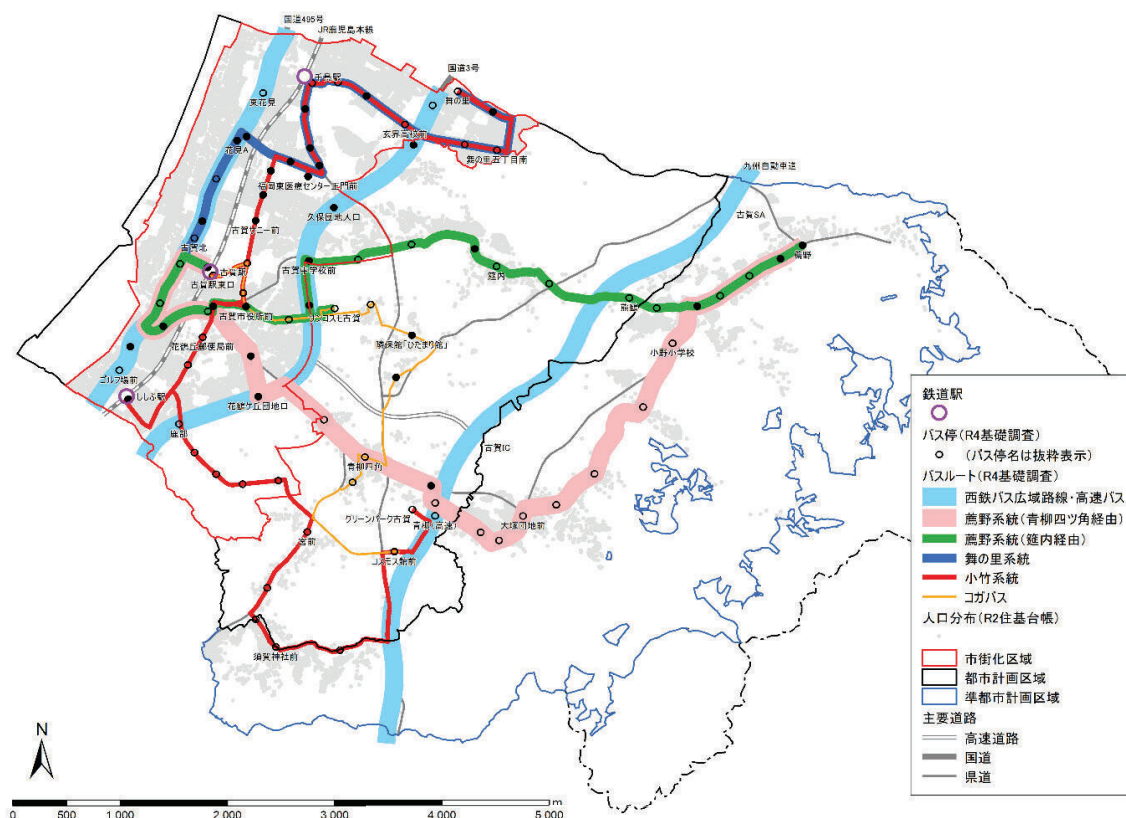
コガバスは、令和3（2021）年度で18本/日運行の29人/日が利用している状況です。

■バスの1日平均乗降客数・運行本数の推移(西鉄路線バスは令和3(2021)年度の乗降客数の多い順)

区分	路線名等 (簡略化)	1日平均乗降客数 (人/日)			1日平均運行本数 (本/日)		
		H29 (2017)	増減	R3 (2021)	H29 (2017)	増減	R3 (2021)
西鉄 路線バス	特急むなかた号・急行（国道3号經由）	4,971	-412	4,559	166	-40	126
	26・26A系統（国道495号經由）	5,178	-1,709	3,469	108	-10	98
	高速バス	482	-185	297	36	-6	30
	①薦野系統（青柳四ツ角經由）	264	-46	218	34	+1	35
	⑥小竹系統（グリーンパーク古賀方面）	79	+61	140	16	-6	10
	③舞の里系統（花見經由）	147	-86	61	17	+7	24
	⑥小竹系統（舞の里方面）	112	-60	52	12	-3	9
	②薦野系統（筵内經由）	56	-32	24	9	+0	9
コガバス	コガバス	-	-	29	-	-	18

出典：都市計画基礎調査

▼路線別のバスルート：令和4（2022）年



出典：古賀市地域公共交通計画（令和7（2025）年6月改訂）

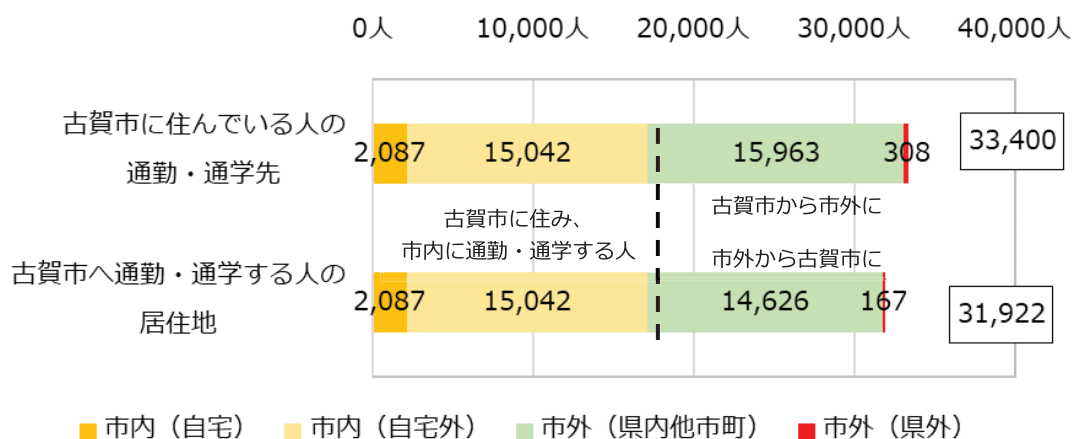
### 3-2. 交通行動の動向

#### (1) 通勤・通学の動向

「古賀市に住み、市内に通勤・通学する人」は17,129人で、全体の約5割です。

「古賀市から市外に通勤・通学する人」が16,271人に対して、「市外から古賀市に通勤・通学する人」が14,793人であることから、約1,500人程度が市外への流出超過となっています。

#### ▼市内外への通勤・通学の動向（令和2年国勢調査）



出典：令和2年国勢調査

通勤・通学先をみると、福岡市が突出して多く、本市から市外に通勤・通学する人の約5割を占めています。

本市を通勤・通学先とする人は、福岡市が最も多く、次いで、福津市、宗像市、新宮町となっています。

福岡市及び新宮町、北九州市、久山町、宮若市に対して、100人以上の流出超過となっています。

#### ■古賀市に住み市外に通勤・通学する人数（100人以上）

通勤・通学先	人数
福岡市	8,158
新宮町	1,982
福津市	1,745
宗像市	953
北九州市	821
久山町	436
宮若市	314
粕屋町	246
篠栗町	145
志免町	141
須恵町	119
飯塚市	100

#### ■古賀市外に住み古賀市に通勤・通学する人数（100人以上）

居住地	人数
福岡市	4,930
福津市	3,351
宗像市	1,976
新宮町	1,502
北九州市	369
篠栗町	283
粕屋町	259
岡垣町	211
志免町	159
宇美町	144
須恵町	136
久山町	128
宮若市	108
春日市	107
飯塚市	102

出典：令和2年国勢調査

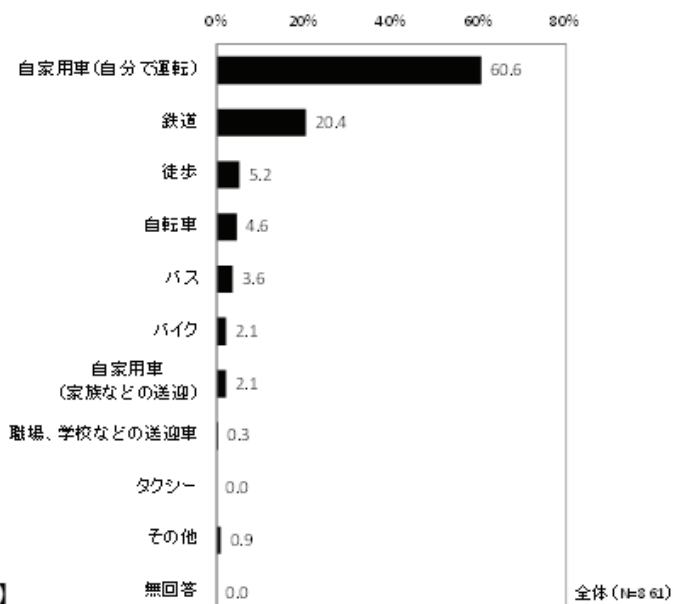
## (2) 通勤・通学の交通手段

通勤・通学の交通手段をみると、「自家用車（自分で運転）」（60.6%）が最も多く、次いで「鉄道」（20.4%）、「徒歩」（5.2%）となっています。

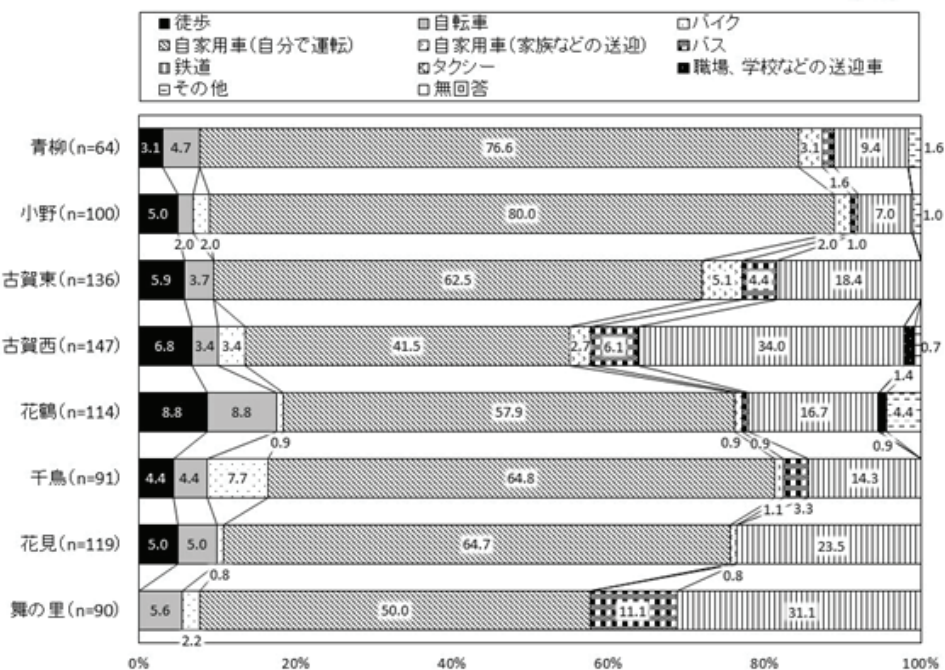
校区別にみると、小野小学校区と青柳小学校区で「自家用車（自分で運転）」が約8割と多い一方、古賀西小学校区は約4割と少なくなっています。また、「自家用車（自分で運転）」の割合が低い古賀西小学校区、舞の里小学校区では「鉄道」が約3割、「バス」が約1割と他の校区よりも高くなっています。

### ▼通勤・通学の交通手段

#### 【全体】



#### 【校区別】



出典：古賀市市民意識調査（令和4（2022）年10～11月実施）

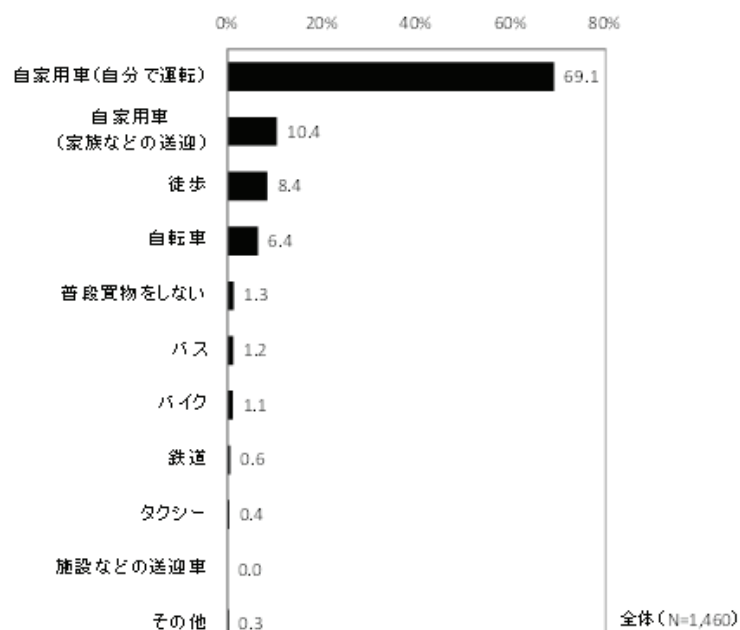
### (3) 日用品や食料品等の買物の交通手段

日用品や食料品の主な買物の交通手段をみると、「自家用車（自分で運転）」（69.1%）が最も多く、次いで「自家用車（家族などの送迎）」（10.4%）、「徒歩」（8.4%）」となっています。

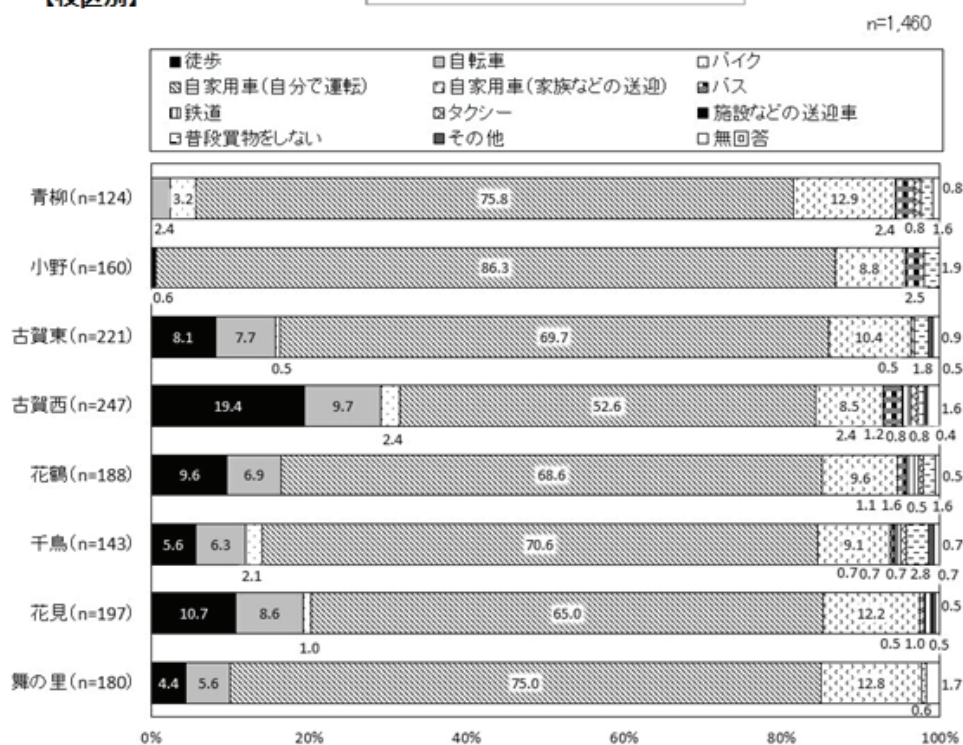
校区別にみると、全ての校区で「自家用車（自分で運転）」が最も多い状況にあります。ただし、他の地域に比べると古賀西小学校区では「自家用車（自分で運転）」が約5割と少なくなっている一方、「徒歩」が約2割と多くなっています。

#### ▼日用品や食料品等の買物先

##### 【全体】



##### 【校区別】



出典：古賀市民意識調査（令和4（2022）年10～11月実施）

### 3-3. 公共交通の利便性（サービス水準）

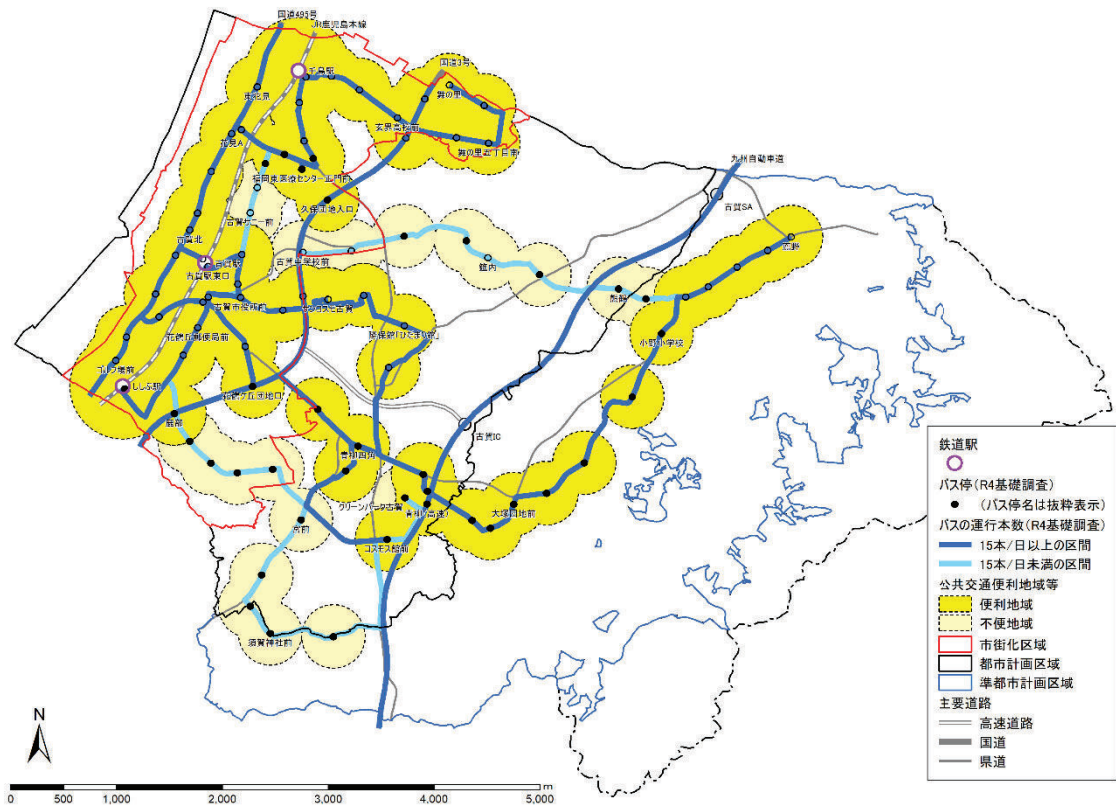
本市の市街化区域は、大半が便利地域か不便地域であり、空白地域は少ない状況です。市街化調整区域も、コガバスが西鉄路線バスを補完していることも影響し、多くの集落が便利地域か不便地域に含まれていると言えます。

#### ■ 公共交通便利地域等の定義（古賀市定義）

鉄道	バス	バス停から 300m 圏内		バス停から 300m 圏外
		運行本数 15 本/日以上	運行本数 15 本/日未満	
鉄道駅から 500m 圏内		【公共交通便利地域】		
鉄道駅から 500m 圏外		鉄道駅に近い、または、本数が多いバス停に近い	【公共交通不便地域】 本数が少ないバス停のみ近い	【公共交通空白地域】 鉄道駅・バス停ともに遠い

※以下、公共交通便利地域等は、基本的に「便利地域」「不便地域」「空白地域」という

#### ▼本市における公共交通便利地域等の範囲



出典：古賀市地域公共交通計画（令和 7（2025）年 6 月改訂）

#### 【分析の考え方】

徒歩圏については、「立地適正化計画作成の手引き」（令和 5（2023）年 11 月改訂版）における「公共交通便利地域等の定義」を参考としつつ、古賀市地域公共交通計画との整合を図り、鉄道駅の徒歩圏を 500m 圏内、バス停の徒歩圏を 300m 圏内とし、バスの運行本数も考慮します。

## 4. 都市機能の立地状況

### 4-1. 商業機能

#### (1) スーパーマーケット（日々の生活に必要な生鮮品、日用品等の買物ができる主たる施設）

市内に9件立地しており、市街化区域の中部から北部に分布しています。市街化調整区域の1件も市街化区域隣接部です。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏35.6%、800m圏57.9%、令和27（2045）年は500m圏36.6%、800m圏59.0%となっています。

#### ■スーパーマーケット一覧（令和7（2025）年12月末時点）

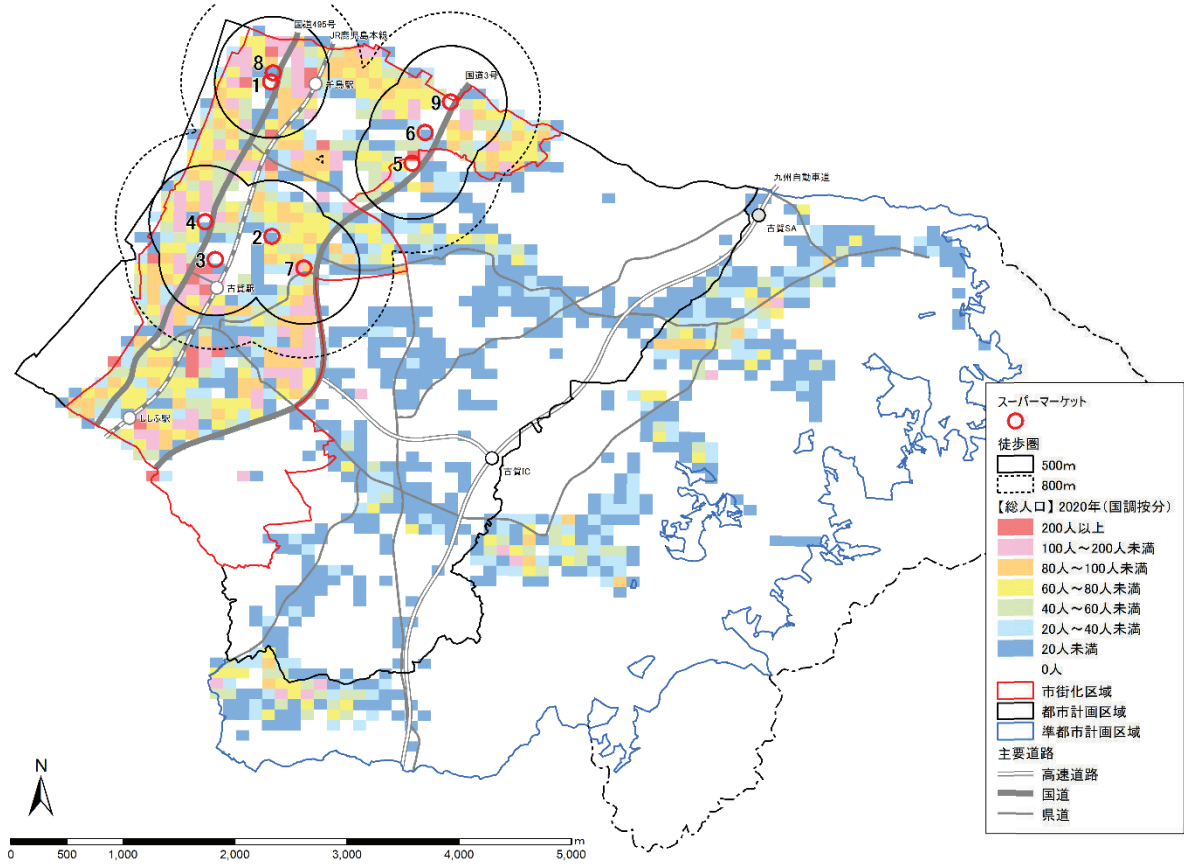
	図面別ID	施設名	所在地
ス ー パ ー マ ー ケ ツ ト	1	マルキョウ花見店	古賀市花見東4丁目1-2
	2	サニー古賀店	古賀市中央4丁目1-1
	3	サンリブ古賀	古賀市天神2丁目5-1
	4	ルミエール古賀店	古賀市天神4丁目9-34
	5	ハローデイ古賀店	古賀市美郷203
	6	わいわいファーム舞の里店	古賀市舞の里3丁目14-12
	7	業務スーパー古賀中央店	古賀市中央2丁目823-1
	8	トライアル古賀花見店	古賀市花見東4丁目13-28
	9	ダイレックス古賀舞の里店	古賀市舞の里3丁目19-10

#### ■徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	20,073人 45.4%	32,634人 73.8%	11,602人 26.2%	44,236人 100.0%	19,221人 45.8%	30,946人 73.8%	11,013人 26.2%
市街化調整区域	844人 18.2%	1,410人 30.4%	3,232人 69.6%	4,642人 100.0%	879人 22.6%	1,413人 36.3%	2,480人 63.7%	3,893人 100.0%
都市計画区域	20,917人 42.8%	34,044人 69.7%	14,834人 30.3%	48,878人 100.0%	20,100人 43.8%	32,359人 70.6%	13,493人 29.4%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	1人 0.0%	0人 0.0%	9,908人 100.0%	9,908人 100.0%	1人 0.0%	0人 0.0%	9,026人 100.0%	9,026人 100.0%
行政区域 計	20,918人 35.6%	34,044人 57.9%	24,742人 42.1%	58,786人 100.0%	20,101人 36.6%	32,359人 59.0%	22,519人 41.0%	54,878人 100.0%

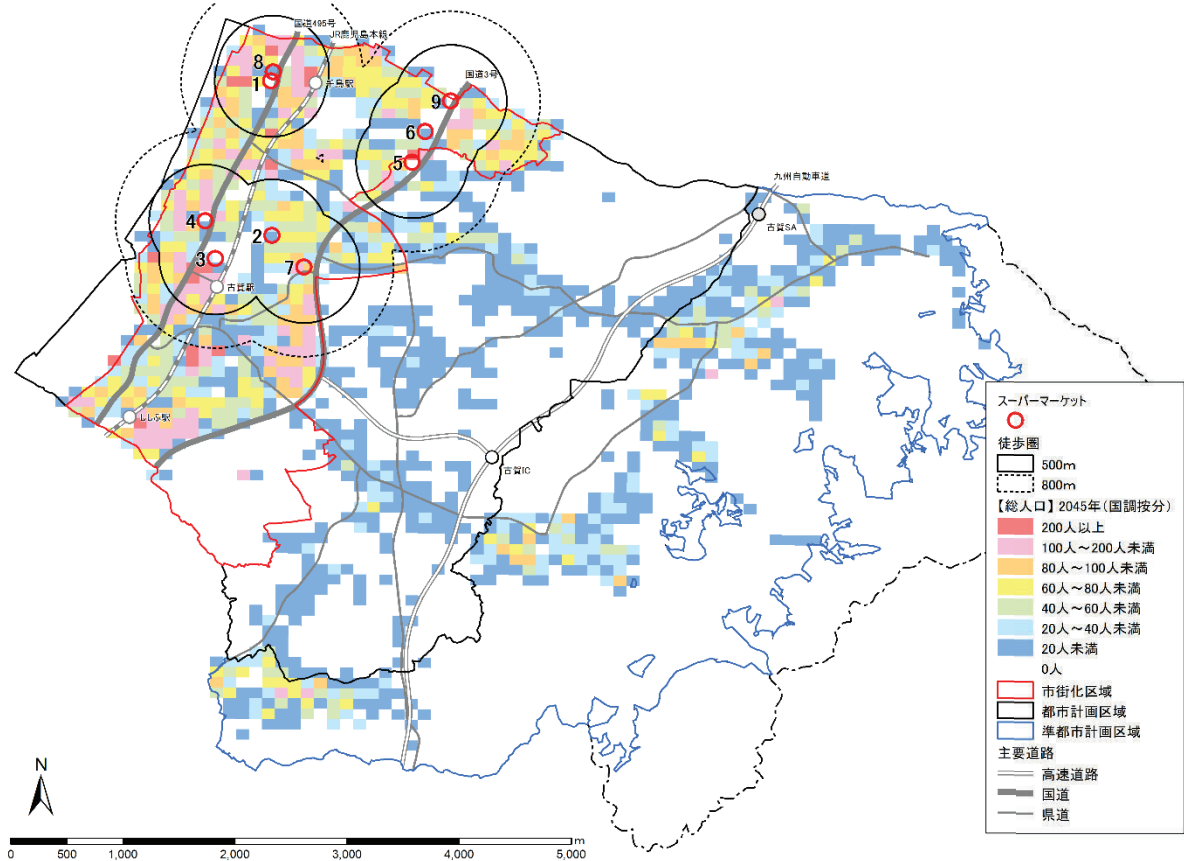
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存スーパーマーケットと人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存スーパーマーケットと人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

## (2) コンビニエンスストア（日常の購買行動としては不特定多数が利用する施設）

市内に19件立地しており、国道3号の西側の市街化区域に多く分布しています。市街化調整区域には3件、準都市計画区域には2件立地しています。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏66.7%、800m圏79.1%、令和27（2045）年は500m圏67.8%、800m圏79.8%となっています。

### ■コンビニエンスストア一覧（令和7（2025）年12月末時点）

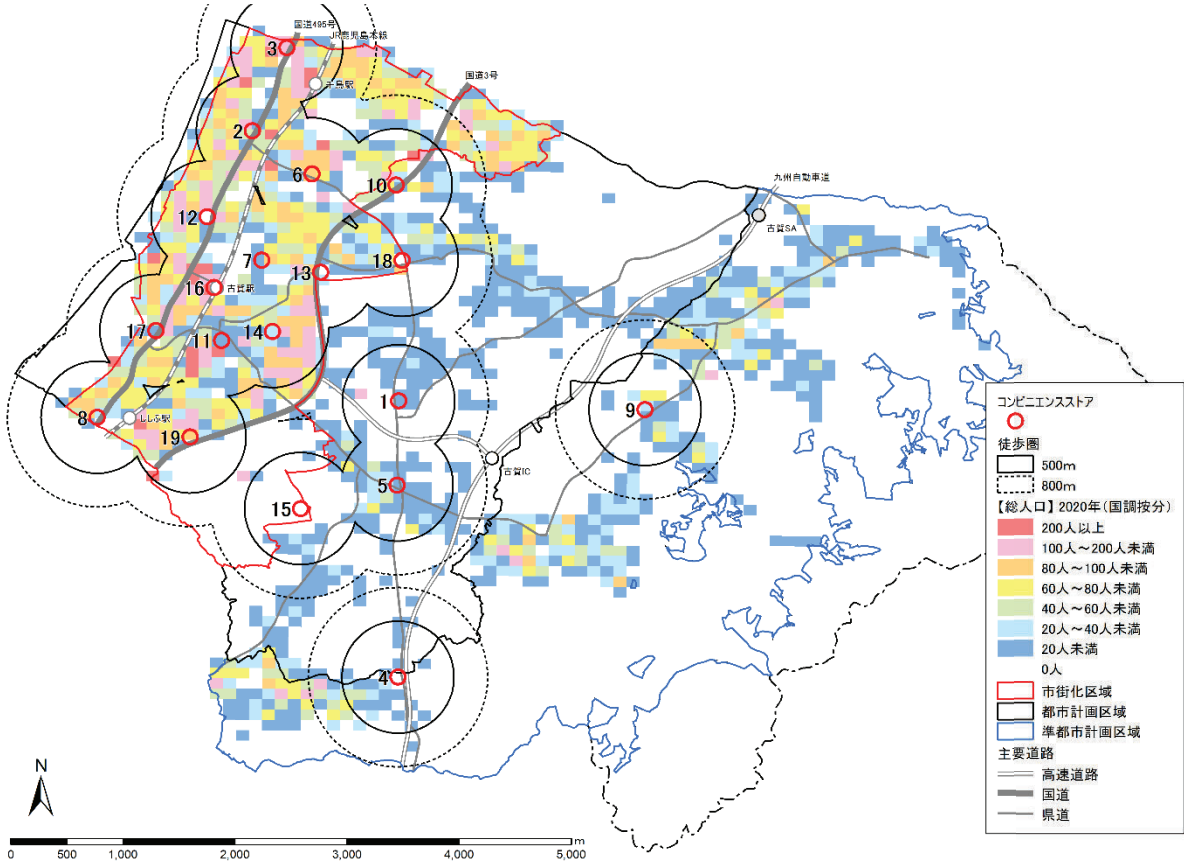
図面別ID	施設名	所在地
1	セブン-イレブン古賀インター店	古賀市新原791-2
2	セブン-イレブン古賀花見東2丁目店	古賀市花見東2丁目2-1
3	セブン-イレブン古賀花見東7丁目店	古賀市花見東7丁目10-35
4	セブン-イレブン古賀栗原店	古賀市青柳503-1
5	セブン-イレブン古賀青柳店	古賀市川原1270-1
6	セブン-イレブン古賀千鳥2丁目店	古賀市千鳥2丁目4-3
7	セブン-イレブン古賀中央3丁目店	古賀市中央3丁目2-5
8	セブン-イレブン古賀日吉3丁目南店	古賀市日吉3丁目21-35
9	セブン-イレブン古賀薬王寺店	古賀市薬王寺1311-1
10	セブン-イレブン古賀流店	古賀市久保1265-3
11	セブン-イレブン古賀花鶴丘店	古賀市花鶴丘1丁目8-3
12	セブン-イレブン古賀天神店	古賀市天神4丁目12-2
13	セブン-イレブン古賀新久保店	古賀市新久保1丁目1-1
14	デイリーヤマザキ古賀市役所前店	古賀市今の庄1丁目1-1
15	デイリーヤマザキ新古賀工業団地店	古賀市青柳2884-2
16	ファミリーマートJR古賀駅店	古賀市天神1丁目1-1
17	ファミリーマート古賀天神5丁目店	古賀市天神5丁目15-5
18	ローソン古賀太郎丸店	古賀市新久保2丁目20-20
19	ローソン古賀美明一丁目店	古賀市美明1丁目13-14

### ■徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	35,868人 81.1%	40,555人 91.7%	3,681人 8.3%	44,236人 100.0%	34,200人 81.5%	38,485人 91.7%	3,474人 8.3%
市街化調整区域	2,523人 54.4%	3,492人 75.2%	1,150人 24.8%	4,642人 100.0%	2,198人 56.5%	2,986人 76.7%	907人 23.3%	3,893人 100.0%
都市計画区域	38,391人 78.5%	44,047人 90.1%	4,831人 9.9%	48,878人 100.0%	36,398人 79.4%	41,471人 90.4%	4,381人 9.6%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	826人 8.3%	2,458人 24.8%	7,450人 75.2%	9,908人 100.0%	817人 9.1%	2,320人 25.7%	6,706人 74.3%	9,026人 100.0%
行政区域 計	39,217人 66.7%	46,505人 79.1%	12,281人 20.9%	58,786人 100.0%	37,215人 67.8%	43,791人 79.8%	11,087人 20.2%	54,878人 100.0%

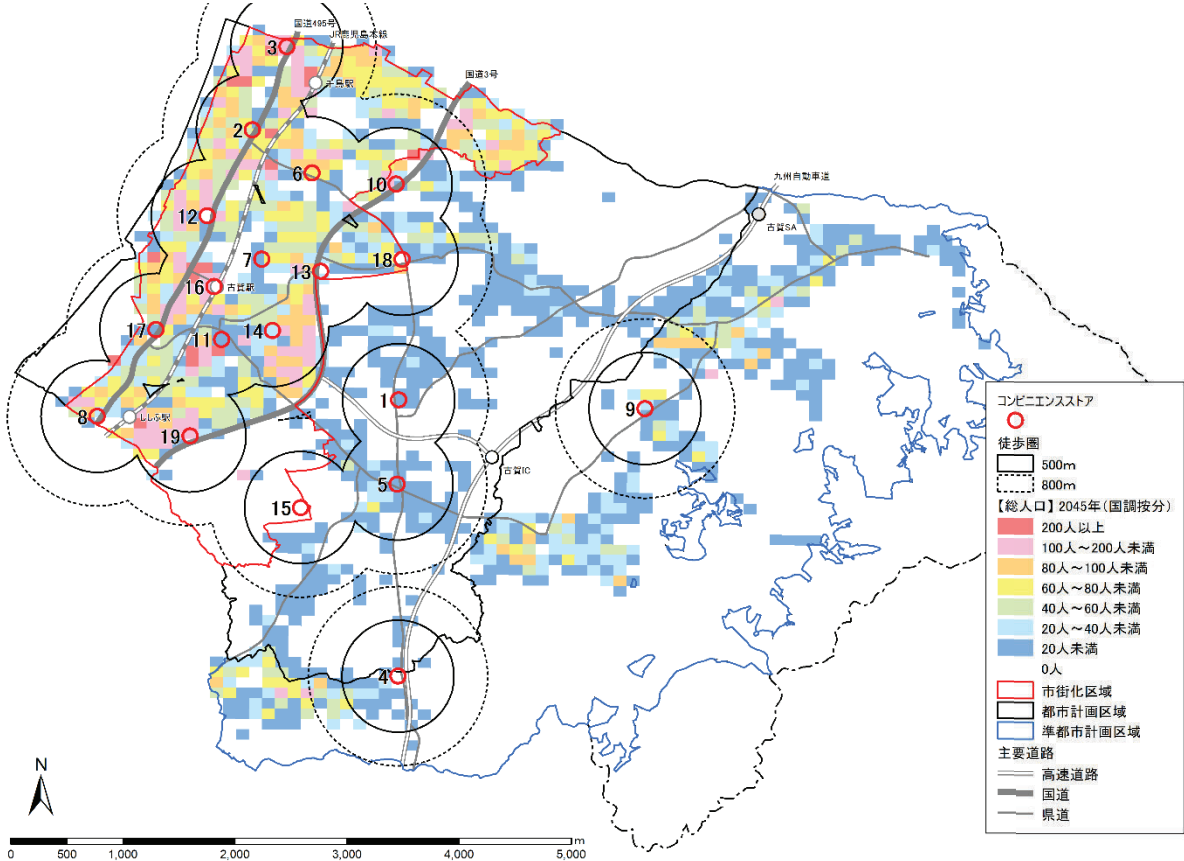
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存コンビニエンスストアと人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存コンビニエンスストアと人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

### (3) ドラッグストア（スーパーマーケットに準ずる施設）

市内に6件立地しており、そのほとんどが市街化区域内に立地しています。1件のみ市街化調整区域に立地しておりますが、市街化区域に近い立地となっております。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏40.2%、800m圏71.0%、令和27（2045）年は500m圏41.8%、800m圏72.7%となっております。

#### ■ ドラッグストア一覧（令和7（2025）年12月末時点）

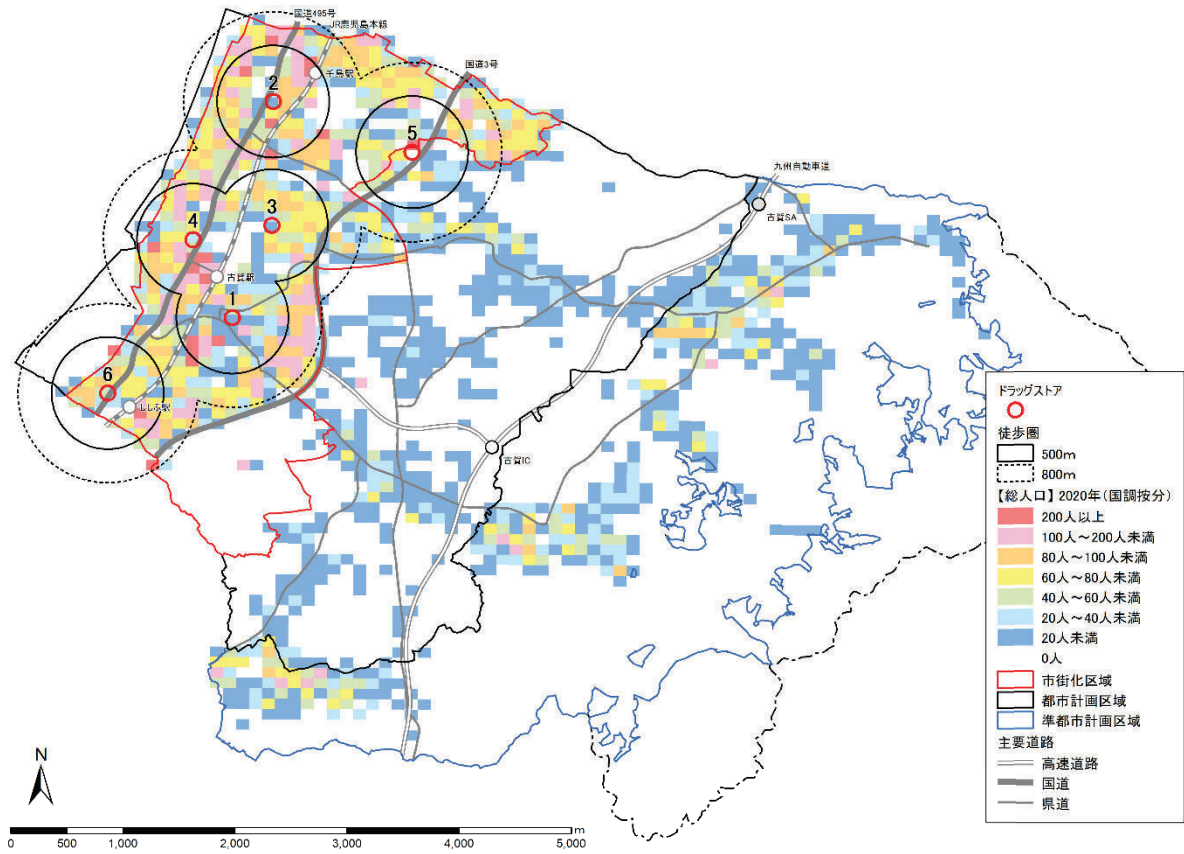
図面別ID	施設名	所在地
ドラッグストア	1 デイスクウントドラッグコスモス古賀中央店	古賀市駅東1丁目4-1
	2 デイスクウントドラッグコスモス古賀店	古賀市花見東1丁目15-14
	3 ドラッグストアモリ古賀店	古賀市中央4丁目1-1
	4 サンドラッグ古賀店	古賀市天神4丁目3-1
	5 ツルハドラッグ古賀美郷店	古賀市美郷203
	6 ドラッグストアモリ古賀日吉店	古賀市日吉3丁目24-2

#### ■ 徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	22,780人 51.5%	40,358人 91.2%	3,878人 8.8%	44,236人 100.0%	22,062人 52.6%	38,516人 91.8%	3,443人 8.2%
市街化調整区域	856人 18.4%	1,368人 29.5%	3,274人 70.5%	4,642人 100.0%	891人 22.9%	1,373人 35.3%	2,520人 64.7%	3,893人 100.0%
都市計画区域	23,636人 48.4%	41,726人 85.4%	7,152人 14.6%	48,878人 100.0%	22,953人 50.1%	39,889人 87.0%	5,963人 13.0%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	1人 0.0%	0人 0.0%	9,908人 100.0%	9,908人 100.0%	0人 0.0%	0人 0.0%	9,026人 100.0%	9,026人 100.0%
行政区域 計	23,637人 40.2%	41,726人 71.0%	17,060人 29.0%	58,786人 100.0%	22,953人 41.8%	39,889人 72.7%	14,989人 27.3%	54,878人 100.0%

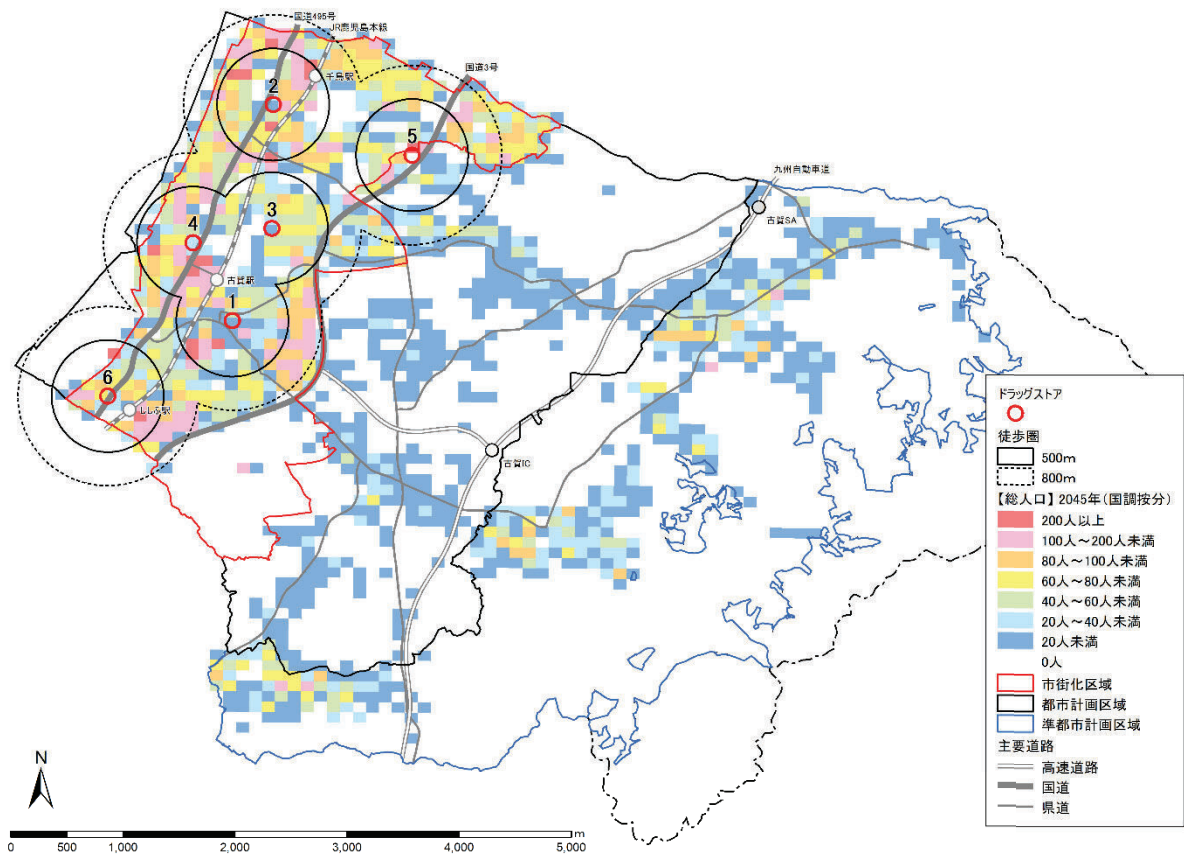
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存ドラッグストアと人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存ドラッグストアと人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

## 4-2. 医療機能

### (1) 医療施設（日常的な診療を受けることができる施設）

全市で28件立地しており、20床以上の病床を有する一般病院は4件、日常的に利用可能な一般診療所（内科、外科、耳鼻科、小児科）は24件立地しています。一般病院は全て市街化区域内に立地しており、一般診療所は市街化調整区域に3件、準都市計画区域に2件、それ以外は市街化区域に立地しています。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏70.5%、800m圏85.3%、令和27（2045）年は500m圏71.8%、800m圏86.1%となっています。

#### ■医療機能一覧（令和7（2025）年12月末時点）

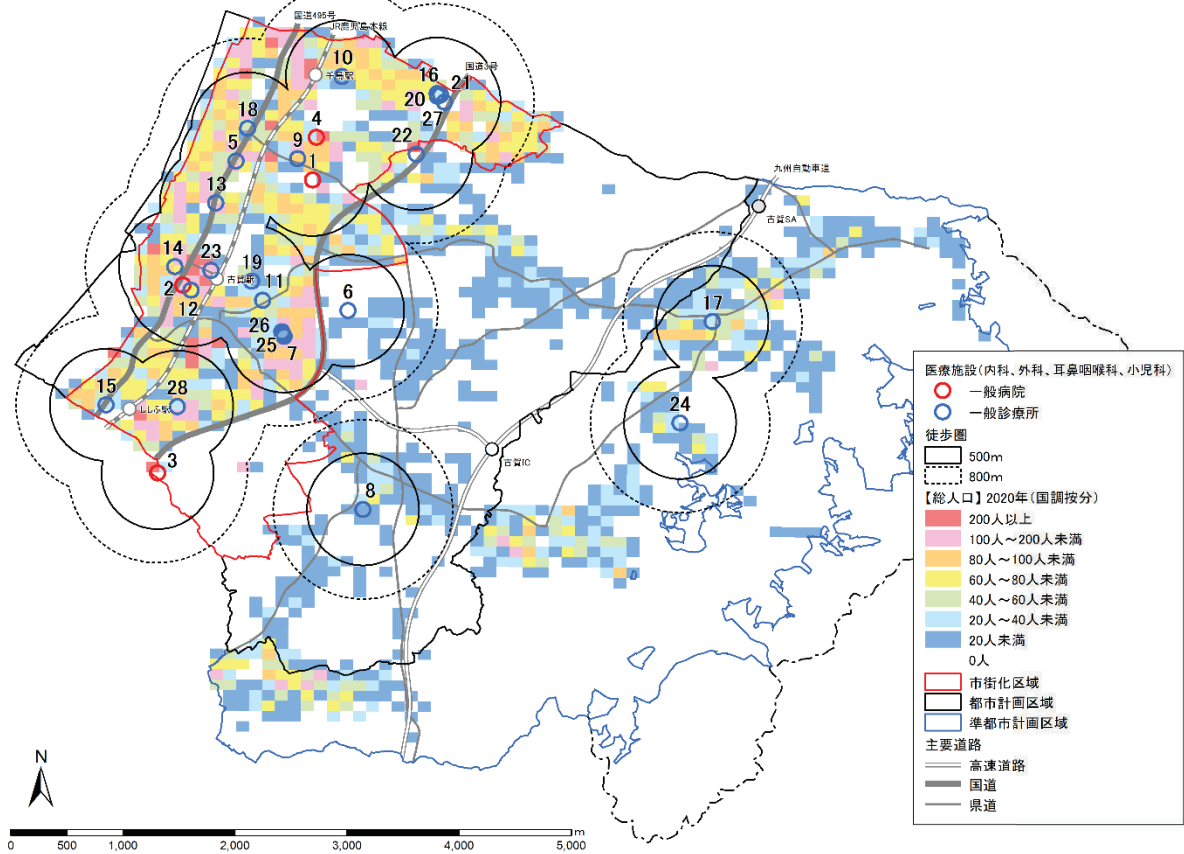
	図面別ID	施設名	所在地
一般病院	1	福岡東医療センター	古賀市千鳥1丁目1-1
	2	古賀中央病院	古賀市天神1丁目13-30
	3	福岡聖恵病院	古賀市鹿部482
	4	北九州古賀病院	古賀市千鳥2丁目12-1
一般診療所	5	加野クリニック	古賀市花見南1丁目2-15
	6	粕屋北部休日診療所	古賀市庄205
	7	やの循環器科内科クリニック	古賀市今の庄2丁目4-14
	8	堤医院	古賀市青柳821-1
	9	あさの内科クリニック	古賀市千鳥2丁目21-4
	10	舞の里内科クリニック	古賀市千鳥6丁目11-24
	11	北崎医院	古賀市中央2丁目2-1
	12	中島医院	古賀市天神1丁目12-21
	13	中山内科胃腸科医院	古賀市天神3丁目7-27
	14	トーマ・クリニック	古賀市天神5丁目5-12
	15	福岡内科循環器科クリニック	古賀市日吉3丁目18-15
	16	いけだ内科クリニック	古賀市舞の里3丁目17-10
	17	こがファミリー内科循環器内科	古賀市米多比1515-1
	18	大岩外科胃腸科医院	古賀市花見東2-1-5
	19	かい外科・胃腸科クリニック	古賀市駅東2-14-7
	20	すなお医院	古賀市舞の里3-17-8
	21	医療法人 みやざわ耳鼻咽喉科医院	古賀市舞の里3-17-1
	22	古賀おなかぼんぼん内科クリニック	古賀市美郷203
	23	めぐみクリニック内科・消化器内科	古賀市天神2-1-2
	24	薬王寺在宅クリニック	古賀市薬王寺957
	25	みみ・はな・のどきりんクリニック古賀	古賀市今の庄2丁目2-14
	26	こでまり小児科クリニック	古賀市今の庄2丁目2-12
	27	おおつか小児科アレルギー科クリニック	古賀市舞の里3丁目15-17
	28	ばばこどもクリニック	古賀市美明3丁目1番1号

#### ■徒歩圏人口カバー率

	令和2（2020）年				令和27（2045）年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	36,988人 83.6%	43,427人 98.2%	809人 1.8%	44,236人 100.0%	35,096人 83.6%	41,152人 98.1%	807人 1.9%
市街化調整区域	1,778人 38.3%	3,150人 67.9%	1,492人 32.1%	4,642人 100.0%	1,635人 42.0%	2,699人 69.3%	1,194人 30.7%	3,893人 100.0%
都市計画区域	38,766人 79.3%	46,577人 95.3%	2,301人 4.7%	48,878人 100.0%	36,731人 80.1%	43,851人 95.6%	2,001人 4.4%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	2,701人 27.3%	3,588人 36.2%	6,320人 63.8%	9,908人 100.0%	2,646人 29.3%	3,417人 37.9%	5,609人 62.1%	9,026人 100.0%
行政区域 計	41,467人 70.5%	50,165人 85.3%	8,621人 14.7%	58,786人 100.0%	39,377人 71.8%	47,268人 86.1%	7,610人 13.9%	54,878人 100.0%

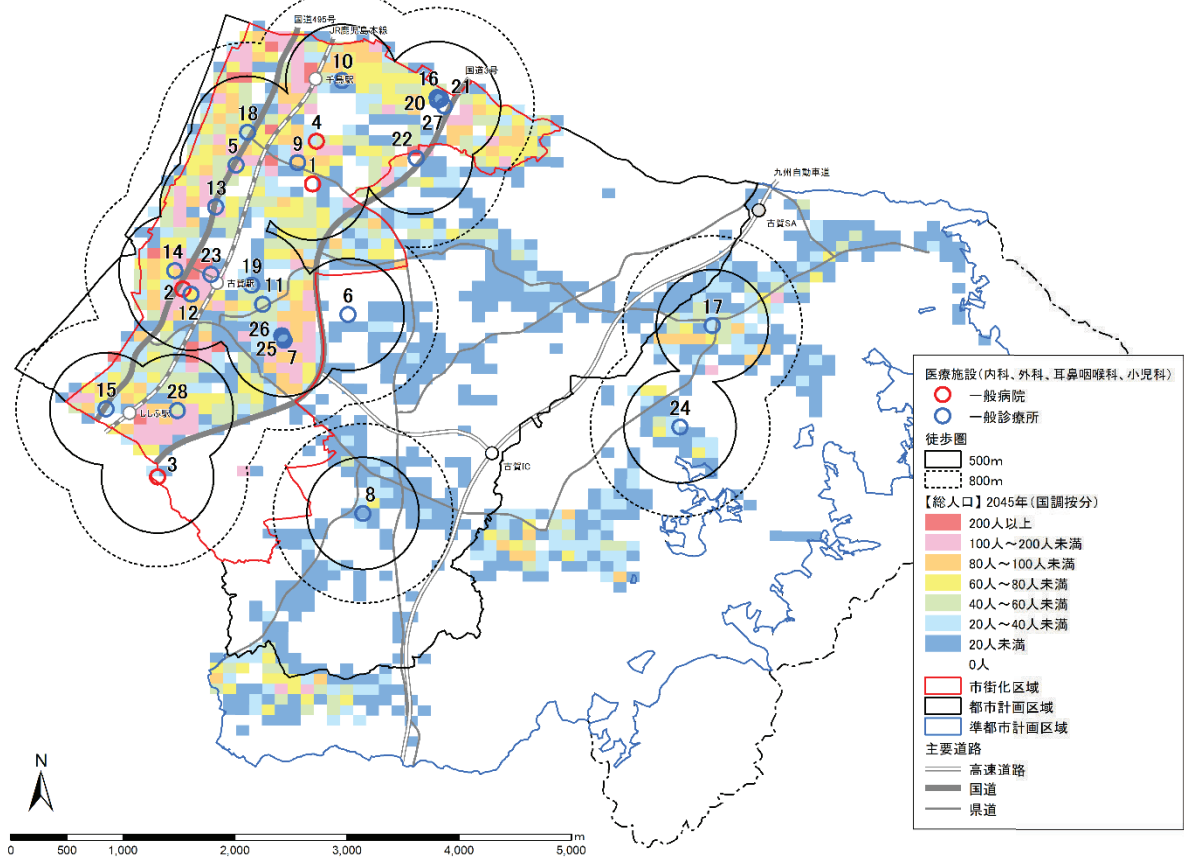
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存医療施設と人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存医療施設と人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

### 4-3. 介護福祉機能

#### (1) 高齢者福祉施設（高齢者が日常的な介護サービスを受けることができる施設）

市内に49件立地しており、通所系施設は31件、訪問系施設が16件、小規模多機能施設が2件立地しています。市街化区域だけでなく、市街化調整区域、準都市計画区域にも多く立地しています。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏70.5%、800m圏87.1%、令和27（2045）年は500m圏71.0%、800m圏87.3%となっています。

#### ■ 高齢者福祉施設一覧（令和7（2025）年12月末時点）

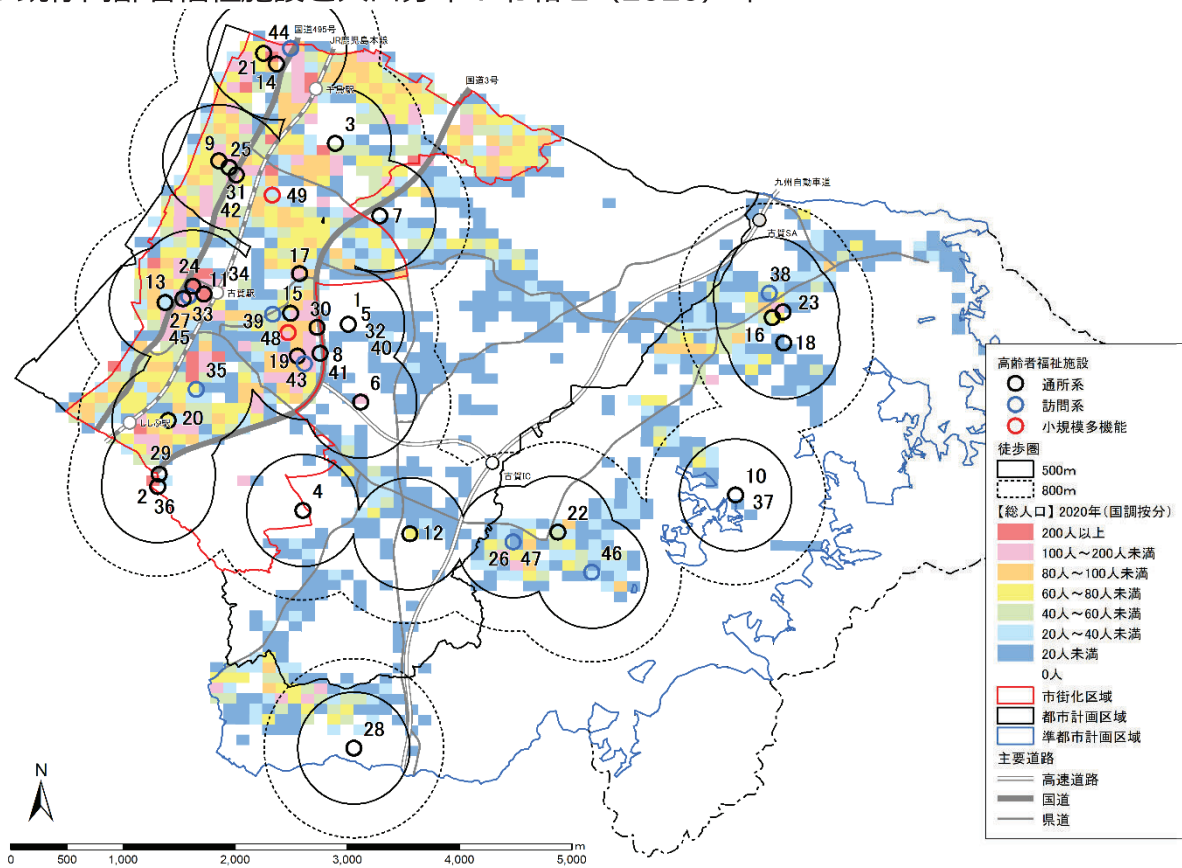
	図面別ID	施設名	所在地	
通所系	1	古賀市保健福祉総合センター・サンコスモ古賀	古賀市庄205	
	2	古賀市第1地域包括支援センター(福岡聖恵病院内)	古賀市鹿部482	
	3	古賀市第2地域包括支援センター(千鳥苑内)	古賀市千鳥3-3-1	
	4	古賀市第3地域包括支援センター	古賀市青柳2886-4	
	5	通所介護事業所「はーとふる古賀」	古賀市庄205(サンコスモ内)	
	6	みどり苑デイサービスセンター	古賀市新原840	
	7	医療法人植田脳神経外科医院デイサービスセンター	古賀市久保1095-1	
	8	あおぞらの里古賀デイサービスセンター	古賀市今の庄2丁目8-28	
	9	デイサービス花梨	古賀市花見南2丁目14-15	
	10	介護事業所ほたるの郷	古賀市薬王寺518-1	
	11	ライブリーワンデイサービス	古賀市天神1丁目8-36	
	12	デイサービスどんぐり	古賀市青柳町803	
	13	通所介護ライズ古賀	古賀市天神5-10-8	
	14	デイサービスセンター花見	古賀市花見東7-2-11	
	15	医療法人Y&Kデイサービス プライカ	古賀市今の庄1丁目19-16	
	16	つつみデイサービス	古賀市薦野1892-1	
	17	ベストケア・デイサービスセンター古賀	古賀市中央2丁目825-7	
	18	デイサービスこはる茶屋	古賀市米多比555-1	
	19	デイサービスセンターいこいの里古賀	古賀市今の庄2-15-10	
	20	ライズケアセンター古賀	古賀市美明2丁目1-6	
	21	小規模デイサービスひより茶屋	古賀市花見東7丁目9-31	
	22	デイサービスゆとり	古賀市谷山1057-3	
	23	デイハウスこもの倶楽部	古賀市薦野1885-1	
	24	ライズトレーニングセンター古賀	古賀市天神1-3-14	
	25	笑顔満開はなこぼ古賀	古賀市花見南2丁目11-9	
	26	けあビジョンホーム古賀	古賀市谷山939-1	
	27	古賀中央病院通所リハビリテーション	古賀市天神1丁目13-30	
	28	デイサービス古賀のたいう	古賀市青柳1228-8	
	29	福岡聖恵病院デイケア聖恵	古賀市鹿部482	
	30	かい整形外科医院通所リハビリテーション	古賀市今の庄1-10-28	
	31	加野クリニックリハビリセンター	古賀市花見南1-2-15(加野クリニック内)	
訪問系	32	訪問介護事業所「ほつとステーション」	古賀市庄205(サンコスモ内)	
	33	古賀タクシー介護ステーションコスモス	古賀市天神1-4-15	
	34	ライブリーワンヘルパーセンター	古賀市天神1-8-36	
	35	グリーンコープふくしサービスセンター	古賀市花鶴丘2-10-17-2	
	36	福岡聖恵病院聖恵訪問介護ステーション	古賀市鹿部482	
	37	訪問介護ステーションカム	古賀市薬王寺518-1	
	38	ホームヘルプサービス toco	古賀市薦野1936-1	
	39	訪問介護ステーション 想庵	古賀市中央1-2-13	
	40	福岡県看護協会訪問看護ステーション「こが」	古賀市庄205(サンコスモ内)	
	41	あおぞらの里古賀訪問看護ステーション	古賀市今の庄2丁目8-28	
	42	訪問看護ステーションやまびこ	古賀市花見南1-2-15(加野クリニック内)	
	43	訪問介護 にこっと	古賀市今の庄2丁目13-24グランシャリオ古賀B101号	
	44	訪問看護ステーション テラコッタ	古賀市花見東7丁目14-1-1302	
	45	あいわ訪問看護ステーション	古賀市天神1-13-30	
	46	訪問看護ステーションいちばん星	古賀市谷山735-14	
	47	けあビジョンホーム古賀訪問介護	古賀市谷山939-1	
	小規模多機能	48	余香庵	古賀市今の庄1-2-12
		49	小規模多機能ホームたんぽぽ	古賀市千鳥1-3-5

■ 徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	34,515人 78.0%	40,421人 91.4%	3,815人 8.6%	44,236人 100.0%	32,780人 78.1%	38,279人 91.2%	3,680人 8.8%
市街化調整区域	1,962人 42.3%	3,321人 71.5%	1,321人 28.5%	4,642人 100.0%	1,662人 42.7%	2,860人 73.5%	1,033人 26.5%	3,893人 100.0%
都市計画区域	36,477人 74.6%	43,742人 89.5%	5,136人 10.5%	48,878人 100.0%	34,442人 75.1%	41,139人 89.7%	4,713人 10.3%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	4,976人 50.2%	7,469人 75.4%	2,439人 24.6%	9,908人 100.0%	4,517人 50.0%	6,781人 75.1%	2,245人 24.9%	9,026人 100.0%
行政区域 計	41,453人 70.5%	51,211人 87.1%	7,575人 12.9%	58,786人 100.0%	38,959人 71.0%	47,920人 87.3%	6,958人 12.7%	54,878人 100.0%

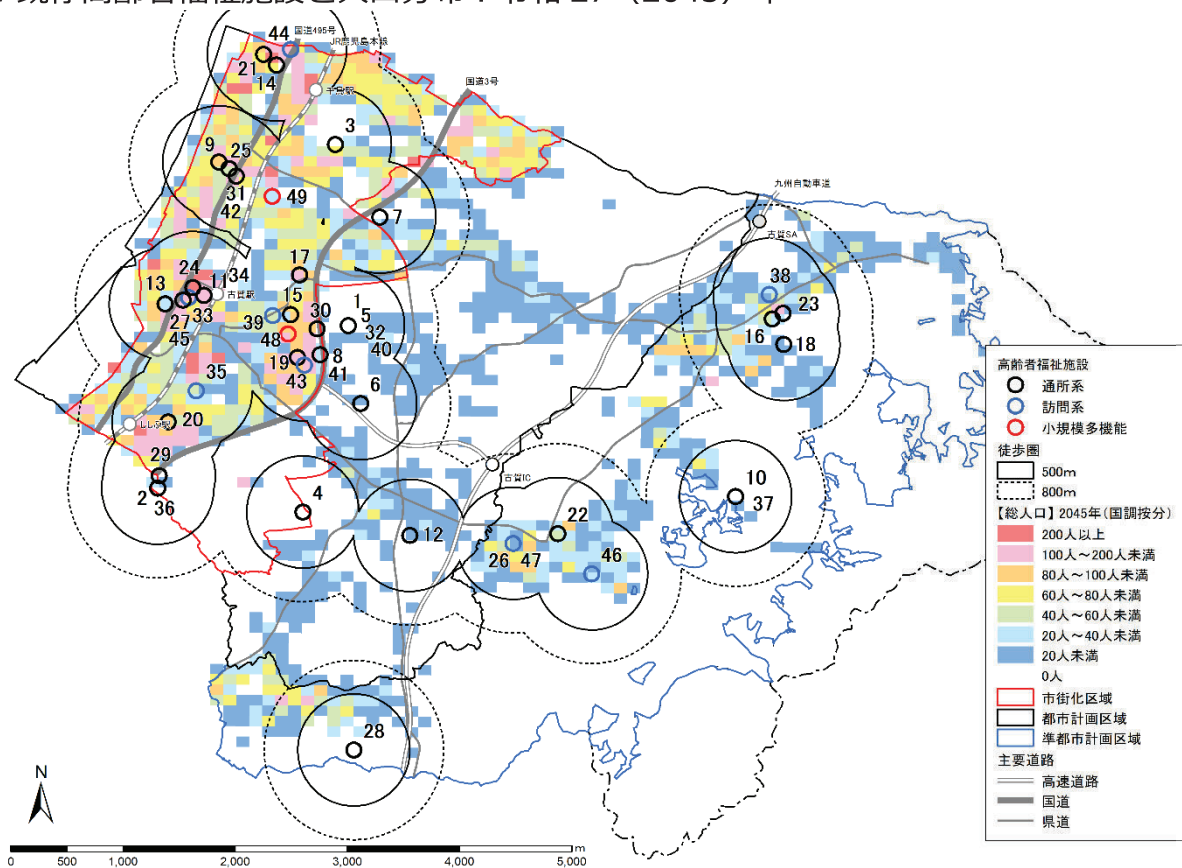
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存高齢者福祉施設と人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存高齢者福祉施設と人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

## (2) 障がい者福祉施設（障がい者が日常的な介護・訓練サービスを受けることができる施設）

市内に22件立地しており、障がい者通所施設が12件、障がい児通所支援施設が9件立地しています。（1箇所で障がい者通所施設と障がい児通所支援施設の両方が立地）

22件のうち、市街化区域の立地が多く19件で、準都市計画区域3件です。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏65.0%、800m圏83.4%、令和27（2045）年は500m圏66.6%、800m圏84.2%となっています。

### ■障がい者福祉施設一覧（令和7（2025）年12月末時点）

図面別ID	施設名	所在地
障がい者通所施設	1 パンダのたまご	古賀市花見東1丁目2-5
	2 Stay gold古賀	古賀市花見南2-10-23
	3 PPOマネジメントサービス	古賀市花見南2-20-21-1
	4 第八野の花学園	古賀市花鶴丘2-1-12-25
	5 なのみの里・なのみ工房	古賀市久保1343-3
	6 きずな	古賀市今の庄2-2-1-201(中野ビル)
	7 winds	古賀市千鳥2-21-10
	8 福岡県障がい者リハビリテーションセンター	古賀市千鳥3-1-1
	9 生活介護 みちしるべ	古賀市薦野609
	10 生更木	古賀市天神5-1-6サンビル2階
	11 ツバサプラス	古賀市美明1-5-24
	12 ダチョウのたまご	古賀市天神1丁目3-14
者、児通所支援施設	13 なないろライフケア、なないろワーク、なないろキッズ	古賀市新久保1-15-45
	14 良創夢発達支援ルーム らいく古賀店	古賀市駅東2丁目11-1
	15 発達支援施設 はじめの一步 花見事業所	古賀市花見東4丁目3番11号ハイランド花見1階
	16 COMPASS発達支援センター古賀	古賀市花鶴丘一丁目7-5
	17 運動療育センターすきっぷ 古賀教室	古賀市小竹841-5
	18 福岡療育支援センターいちばん星古賀	古賀市谷山735-14
	19 発達支援施設 はじめの一步 古賀西事業所	古賀市天神5丁目5-1
	20 unico古賀	古賀市舞の里4丁目2-1 リナックス舞の里1F-B
	21 放課後等デイサービス vacances	古賀市新久保1丁目15-44
	22 unico 古賀駅前	古賀市天神1丁目3-16

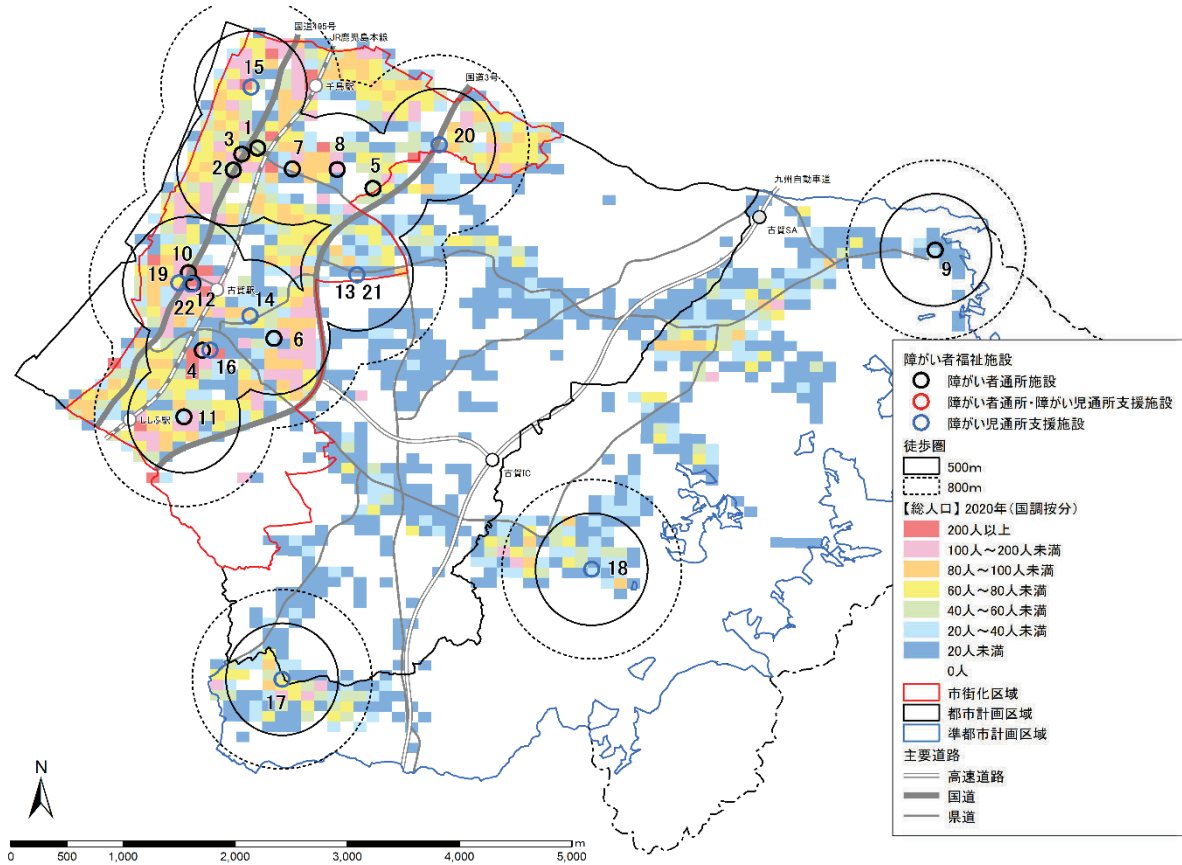
※表中の「者、児」は「障がい者通所施設、障がい児通所支援施設」の略

### ■徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	34,036人 76.9%	42,303人 95.6%	1,933人 4.4%	44,236人 100.0%	32,676人 77.9%	40,103人 95.6%	1,856人 4.4%
市街化調整区域	1,073人 23.1%	1,807人 38.9%	2,835人 61.1%	4,642人 100.0%	1,087人 27.9%	1,727人 44.4%	2,166人 55.6%	3,893人 100.0%
	都市計画区域	35,109人 71.8%	44,110人 90.2%	4,768人 9.8%	48,878人 100.0%	33,763人 73.6%	41,830人 91.2%	4,022人 8.8%
準都市計画区域	3,077人 31.1%	4,914人 49.6%	4,994人 50.4%	9,908人 100.0%	2,785人 30.9%	4,375人 48.5%	4,651人 51.5%	9,026人 100.0%
	行政区域 計	38,186人 65.0%	49,024人 83.4%	9,762人 16.6%	58,786人 100.0%	36,548人 66.6%	46,205人 84.2%	8,673人 15.8%

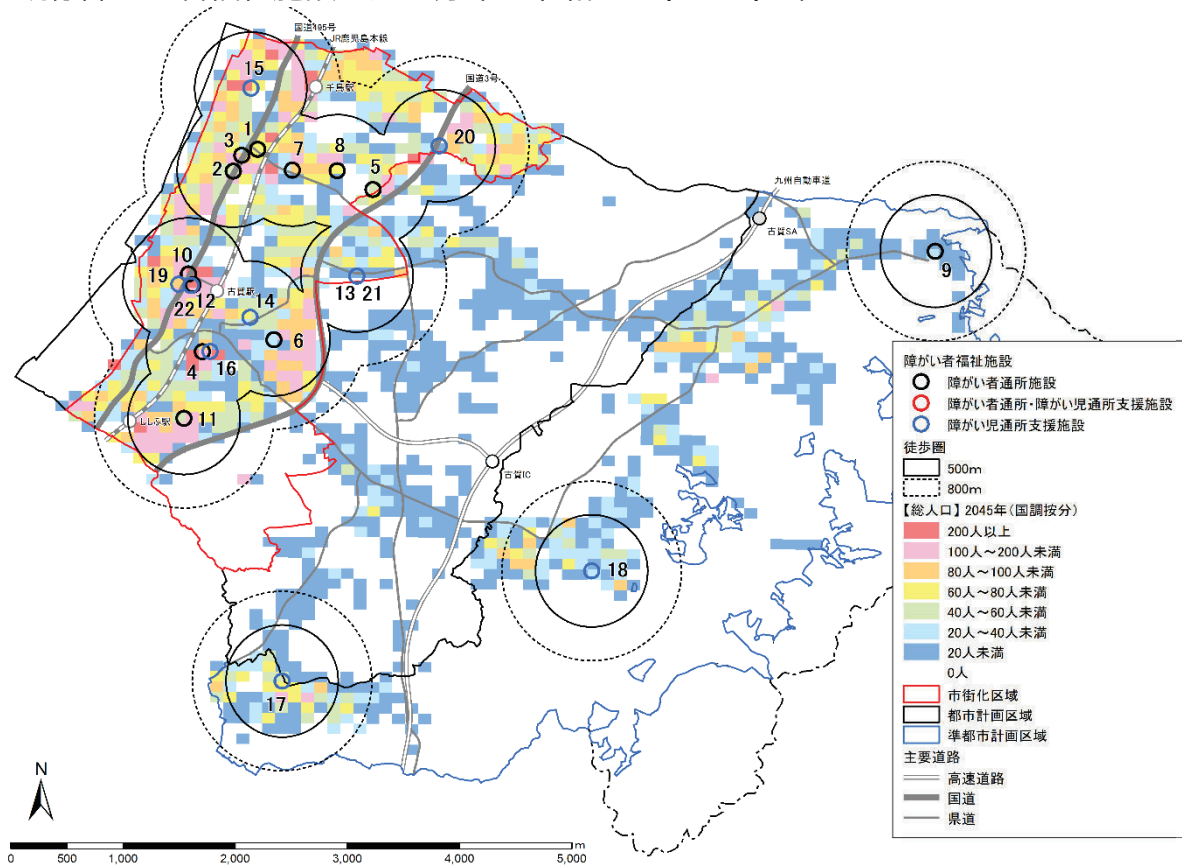
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

### ▼既存障がい者福祉施設と人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

### ▼既存障がい者福祉施設と人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

#### 4-4. 子育て機能

##### (1) 子育て支援施設（乳幼児や保護者が、日常的な保育・教育サービスや相談等を受けることができる施設）

市内に26件立地しており、8件が市街化区域外に立地しています。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年は500m圏61.4%、800m圏79.3%、令和27（2045）年は500m圏62.3%、800m圏80.0%となっています。

##### ■子育て支援施設一覧（令和7（2025）年12月末時点）

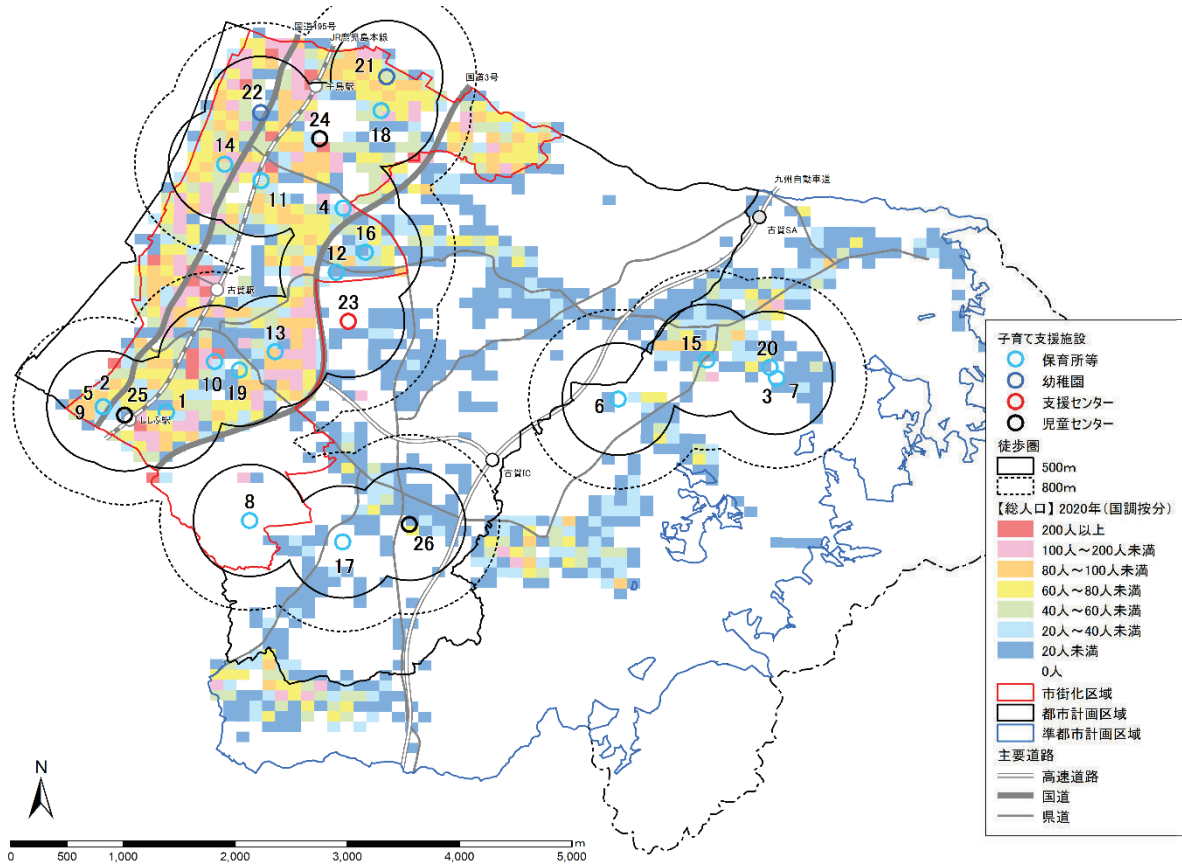
	図面別ID	施設名	所在地
保育所等	認可保育所	1 鹿部保育所	古賀市美明2丁目2-1
	地域型保育 (小規模保育事業所)	2 花鶴幼児園	古賀市日吉3丁目24-35
		3 森のぼかぼか保育園	古賀市米多比1073-1
		4 福岡東医療センターあゆみ保育園	古賀市中央6丁目23-5
	届出保育施設	5 日吉こども園	古賀市日吉3丁目24-35
		6 大富保育園	古賀市薬王寺1344-1
	企業主導型 保育施設	7 森のぼかぼか保育園	古賀市米多比1073-1
		8 はにかむ保育園	古賀市青柳3108-3
		9 にこにここども園	古賀市日吉3丁目24-35
	認定こども園	10 花鶴どろんここども園	古賀市花鶴丘1丁目12
		11 花見光こども園	古賀市千鳥1丁目6-21
		12 ほづみこども園	古賀市新久保1丁目3-24
		13 庄ひかりこども園	古賀市今の庄2丁目4-1
		14 花見あおぞら保育園	古賀市花見南2丁目13-13
		15 恵あおぞら保育園	古賀市米多比1378
		16 くぼこども園	古賀市新久保2丁目3-23
		17 五所こども園	古賀市青柳862-2
		18 舞の里パティ認定こども園	古賀市舞の里2丁目8-6
		19 花鶴丘幼稚園	古賀市花鶴丘1丁目23
		20 やまびこ幼稚園	古賀市米多比1111-1
	幼稚園	21 天照幼稚園	古賀市舞の里1丁目13-2
		22 暁の星幼稚園	古賀市花見東2丁目23-1
	支援センター	23 子ども家庭センター	古賀市庄205
	児童センター	24 古賀市立千鳥児童センター「COSMOX(コスモックス)」	古賀市千鳥3丁目3-7
		25 古賀市立ししぶ児童センター「Funknock(ファンノック)」	古賀市日吉3丁目14-1
		26 古賀市立青柳児童センター「AOCHIRU(アオチル)」	古賀市青柳801

##### ■徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	32,380人 73.2%	39,918人 90.2%	4,318人 9.8%	44,236人 100.0%	30,662人 73.1%	37,798人 90.1%	4,161人 9.9%
市街化調整区域	1,284人 27.7%	2,936人 63.2%	1,706人 36.8%	4,642人 100.0%	1,173人 30.1%	2,555人 65.6%	1,338人 34.4%	3,893人 100.0%
都市計画区域	33,664人 68.9%	42,854人 87.7%	6,024人 12.3%	48,878人 100.0%	31,835人 69.4%	40,353人 88.0%	5,499人 12.0%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	2,404人 24.3%	3,736人 37.7%	6,172人 62.3%	9,908人 100.0%	2,356人 26.1%	3,551人 39.3%	5,475人 60.7%	9,026人 100.0%
行政区域 計	36,068人 61.4%	46,590人 79.3%	12,196人 20.7%	58,786人 100.0%	34,191人 62.3%	43,904人 80.0%	10,974人 20.0%	54,878人 100.0%

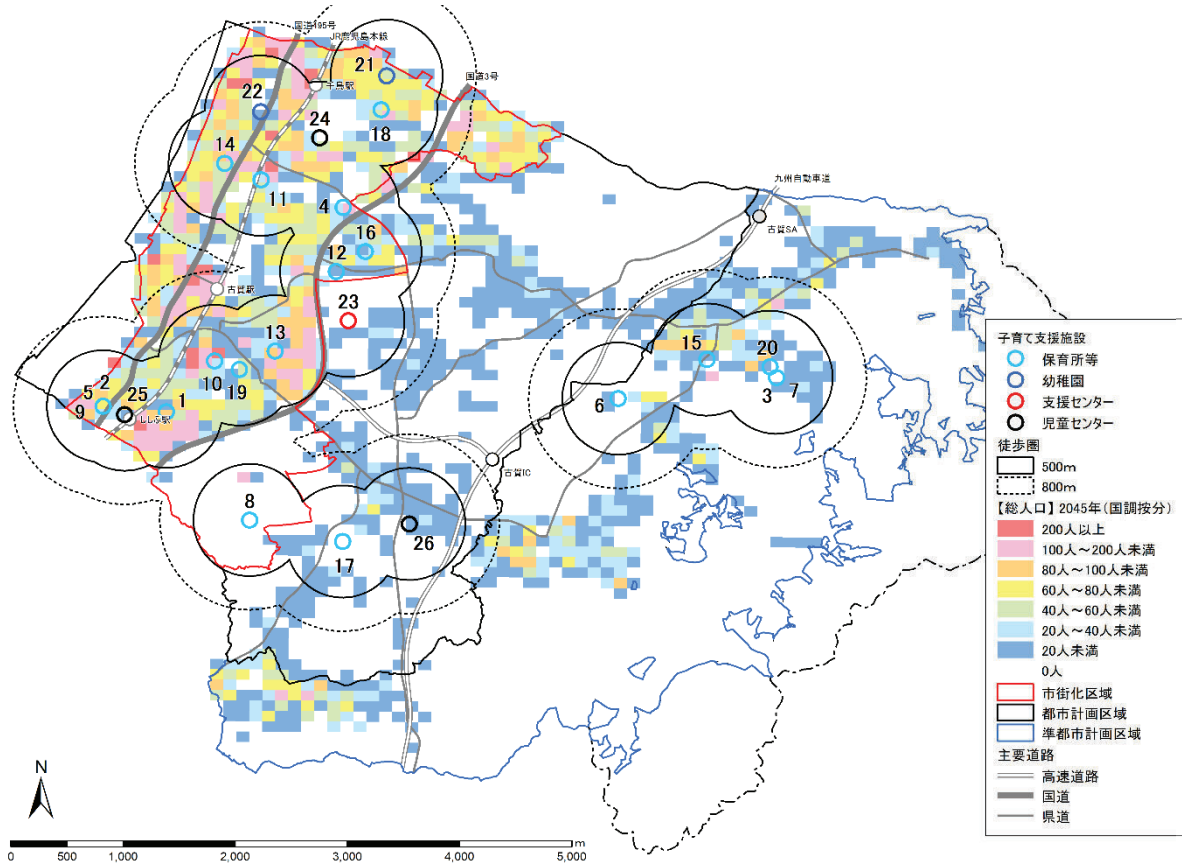
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存子育て支援施設と人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存子育て支援施設と人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

## 4-5. 金融機能

### (1) 金融関連施設（身近で入出金ができる施設）

郵便局は7件、銀行等の金融機関が6件、ATMが32件立地しています。ATMのうち18件はコンビニATMです。

行政区域の徒歩圏人口カバー率を見ると、令和2（2020）年500m圏77.2%、800m圏88.9%、令和27（2045）年は500m圏78.1%、800m圏89.6%となっています。

### ■金融機能一覧（令和7（2025）年12月末時点）

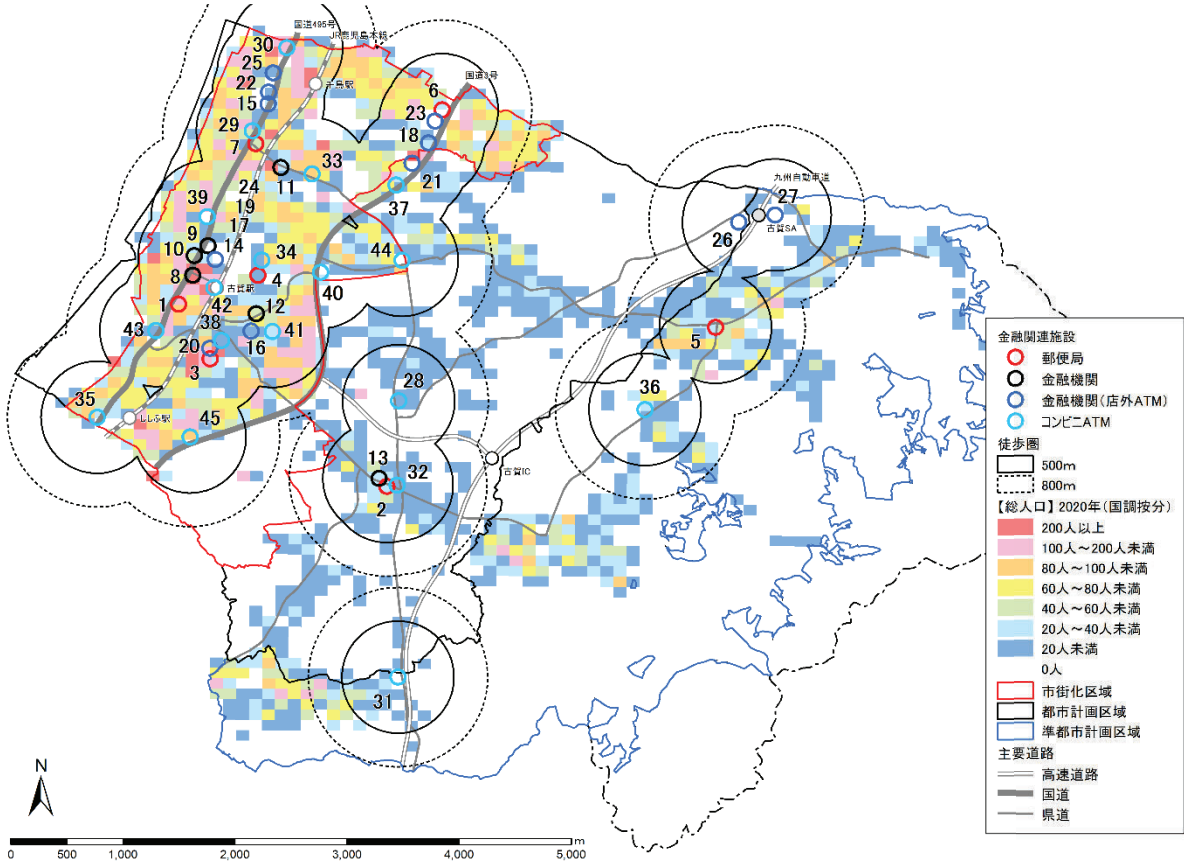
	図面別ID	施設名	所在地
郵便局	1	古賀駅前郵便局	古賀市天神1丁目15-1
	2	青柳郵便局	古賀市川原1001-4
	3	古賀花鶴丘郵便局	古賀市花鶴丘1丁目10
	4	古賀郵便局	古賀市中央3丁目1-1
	5	古賀米多比郵便局	古賀市米多比1514-7
	6	古賀舞の里郵便局	古賀市舞の里3丁目15-31
	7	古賀花見郵便局	古賀市花見東1丁目1-2
金融機関	8	福岡銀行古賀支店	古賀市天神1丁目3-35
	9	西日本シティ銀行古賀支店	古賀市天神2丁目6-6
	10	遠賀信用金庫古賀支店	古賀市天神4丁目1-23
	11	九州労働金庫古賀支店	古賀市千鳥1丁目4-24
	12	JA粕屋古賀支所	古賀市中央2丁目1-63
	13	JA粕屋古賀インター支所	古賀市川原1128-1
金融機関（店外ATM）	14	ゆうちょ銀行ATM(サンリブ古賀)	古賀市天神2丁目5-1
	15	福岡銀行ATM(花見)	古賀市花見東2丁目24-1
	16	福岡銀行ATM共同キャッシュサービスコーナー(古賀市役所)	古賀市駅東1丁目1-1
	17	福岡銀行ATM(サンリブ古賀)	古賀市天神2丁目5-1
	18	福岡銀行ATM(サテライトプラザ千鳥)	古賀市舞の里3丁目1-2
	19	西日本シティ銀行ATM(サンリブ古賀)	古賀市天神2丁目5-1
	20	西日本シティ銀行ATM(花鶴丘)	古賀市花鶴丘1丁目7-5
	21	西日本シティ銀行ATM(ハローデイ古賀)	古賀市美郷203
	22	西日本シティ銀行ATM(ナフコ古賀)	古賀市花見東4丁目1-1
	23	西日本シティ銀行ATM(千鳥ロードサイドプラザ)	古賀市舞の里3丁目15-1
	24	セブン銀行ATM(サンリブ古賀)	古賀市天神2丁目5-1
	25	セブン銀行ATM(スーパーセンタートライアル古賀花見店)	古賀市花見東4丁目13-28
	26	セブン銀行ATM(九州自動車道 古賀サービスエリア 上り)	古賀市篠内1-1-5
	27	セブン銀行ATM(九州自動車道 古賀サービスエリア 下り)	古賀市薦野1110
コンビニATM	28	セブン-イレブン古賀インター店	古賀市新原791-2
	29	セブン-イレブン古賀花見東2丁目店	古賀市花見東2丁目2-1
	30	セブン-イレブン古賀花見東7丁目店	古賀市花見東7丁目10-35
	31	セブン-イレブン古賀栗原店	古賀市青柳503-1
	32	セブン-イレブン古賀青柳店	古賀市川原1270-1
	33	セブン-イレブン古賀千鳥2丁目店	古賀市千鳥2丁目4-3
	34	セブン-イレブン古賀中央3丁目店	古賀市中央3丁目2-5
	35	セブン-イレブン古賀日吉3丁目南店	古賀市日吉3丁目21-35
	36	セブン-イレブン古賀薬王寺店	古賀市薬王寺1311-1
	37	セブン-イレブン古賀流店	古賀市久保1265-3
	38	セブン-イレブン古賀花鶴丘店	古賀市花鶴丘1丁目8-3
	39	セブン-イレブン古賀天神店	古賀市天神4丁目12-2
	40	セブン-イレブン古賀新久保店	古賀市新久保1丁目1-1
	41	デイリーヤマザキ古賀市役所前店	古賀市今の庄1丁目1-1
	42	ファミリーマートJR古賀駅店	古賀市天神1丁目1-1
	43	ファミリーマート古賀天神5丁目店	古賀市天神5丁目15-5
	44	ローソン古賀太郎丸店	古賀市新久保2丁目20-20
	45	ローソン古賀美明一丁目店	古賀市美明1丁目13-14

## ■ 徒歩圏人口カバー率

	令和2(2020)年				令和27(2045)年			
	500m内	800m内	800m外	計	500m内	800m内	800m外	計
	市街化区域	39,585人 89.5%	43,702人 98.8%	534人 1.2%	44,236人 100.0%	37,575人 89.6%	41,465人 98.8%	494人 1.2%
市街化調整区域	2,668人 57.5%	3,420人 73.7%	1,222人 26.3%	4,642人 100.0%	2,313人 59.4%	2,918人 75.0%	975人 25.0%	3,893人 100.0%
都市計画区域	42,253人 86.4%	47,122人 96.4%	1,756人 3.6%	48,878人 100.0%	39,888人 87.0%	44,383人 96.8%	1,469人 3.2%	45,852人 100.0%
準都市計画区域	3,102人 31.3%	5,123人 51.7%	4,785人 48.3%	9,908人 100.0%	2,993人 33.2%	4,788人 53.0%	4,238人 47.0%	9,026人 100.0%
行政区域 計	45,355人 77.2%	52,245人 88.9%	6,541人 11.1%	58,786人 100.0%	42,881人 78.1%	49,171人 89.6%	5,707人 10.4%	54,878人 100.0%

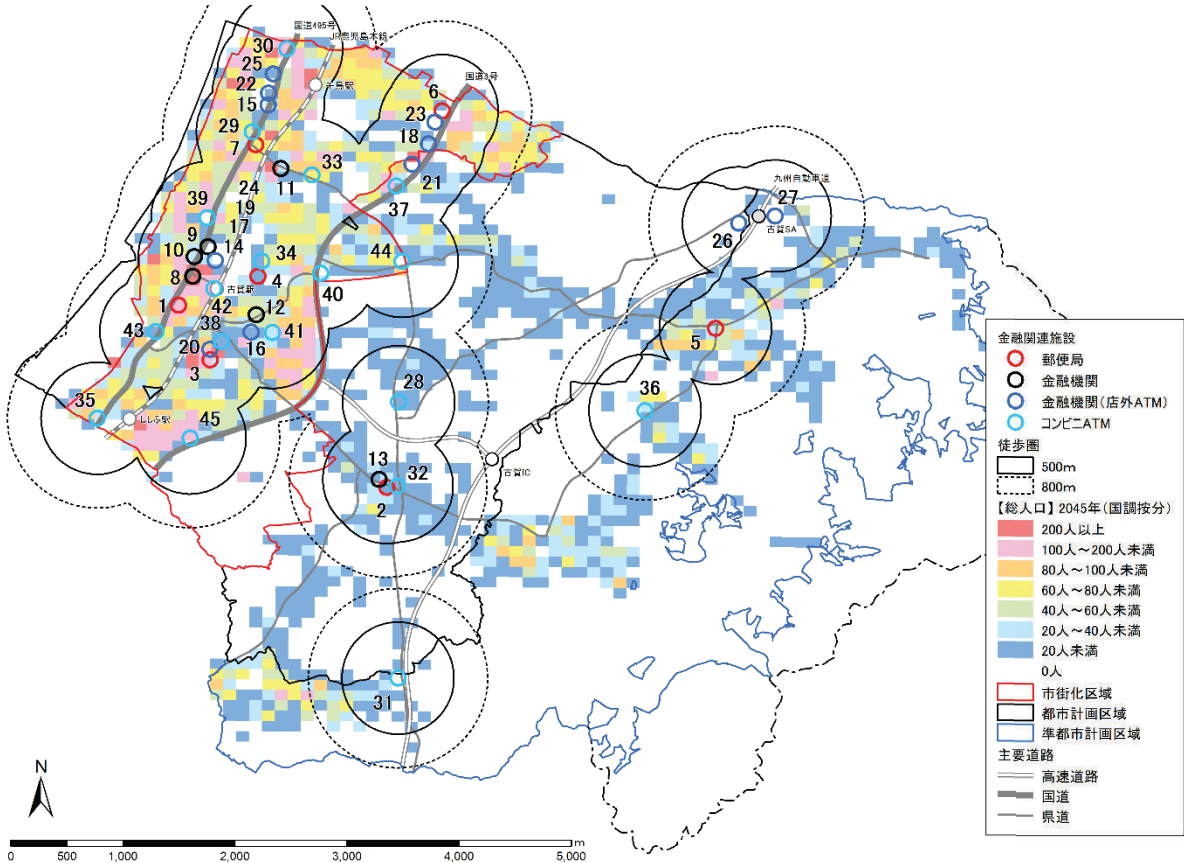
出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

▼既存金融関連施設と人口分布：令和2（2020）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査

▼既存金融関連施設と人口分布：令和27（2045）年



出典：住民基本台帳、令和2年国勢調査、国土数値情報（R5 国政局推計）

## 5. 災害から見た現状

### 5-1. 洪水のリスク

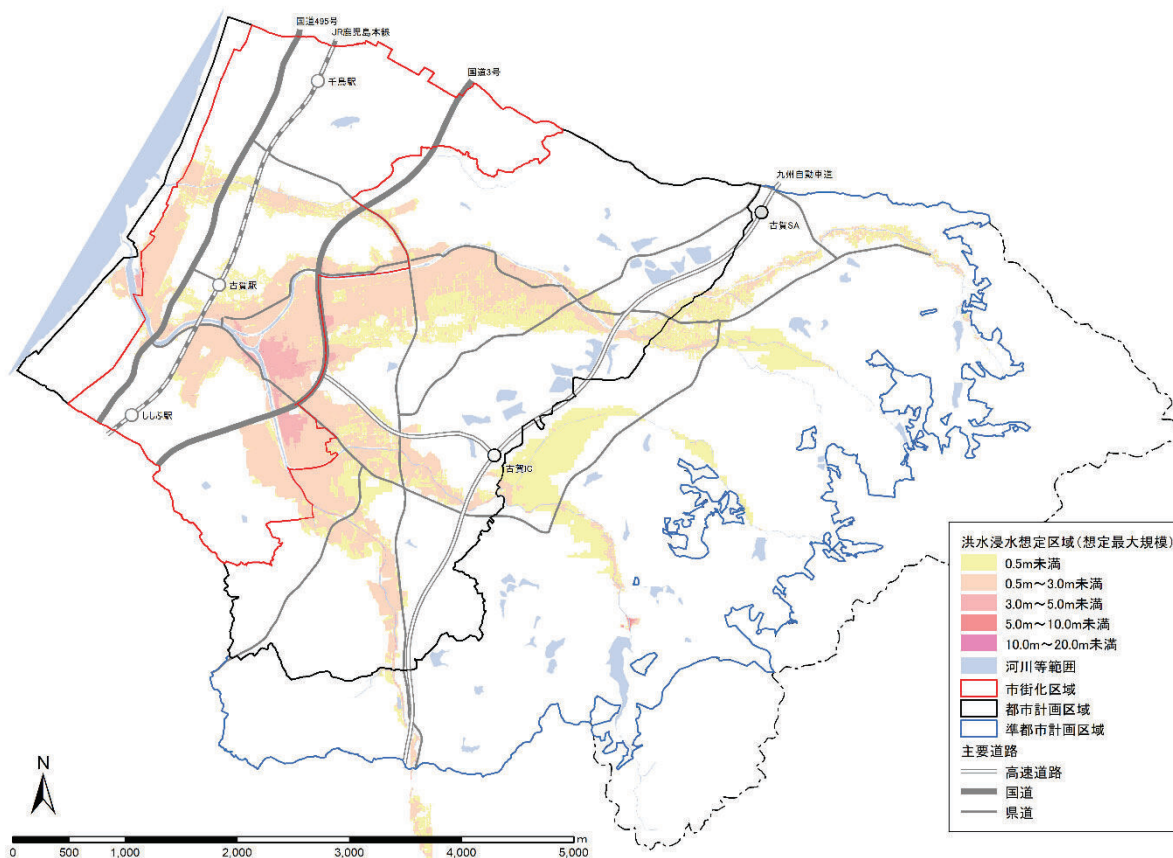
#### (1) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

洪水浸水想定区域における想定最大規模とは、想定し得る最大規模（年超過確率1/1,000程度の降雨量を上回るもの）の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域のことです。大根川の場合、指定の前提となる降雨は、大根川流域の6時間の総雨量584mmの降雨です。

本市においては、市域を流れる河川の周辺で広範囲に浸水想定区域が指定されており、市街化区域においては市役所周辺や工業団地の一部、市街化調整区域においては河川沿いの農地及び隣接する集落が含まれています。

浸水深3m以上が想定される区域は、主に谷山川が大根川に合流する区域に見られません。

#### ▼洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



出典：洪水浸水想定区域図【福岡県河川管理課】

（大根川：令和元（2019）年5月28日、大根川を除く大根川水系：令和4（2022）年5月27日）

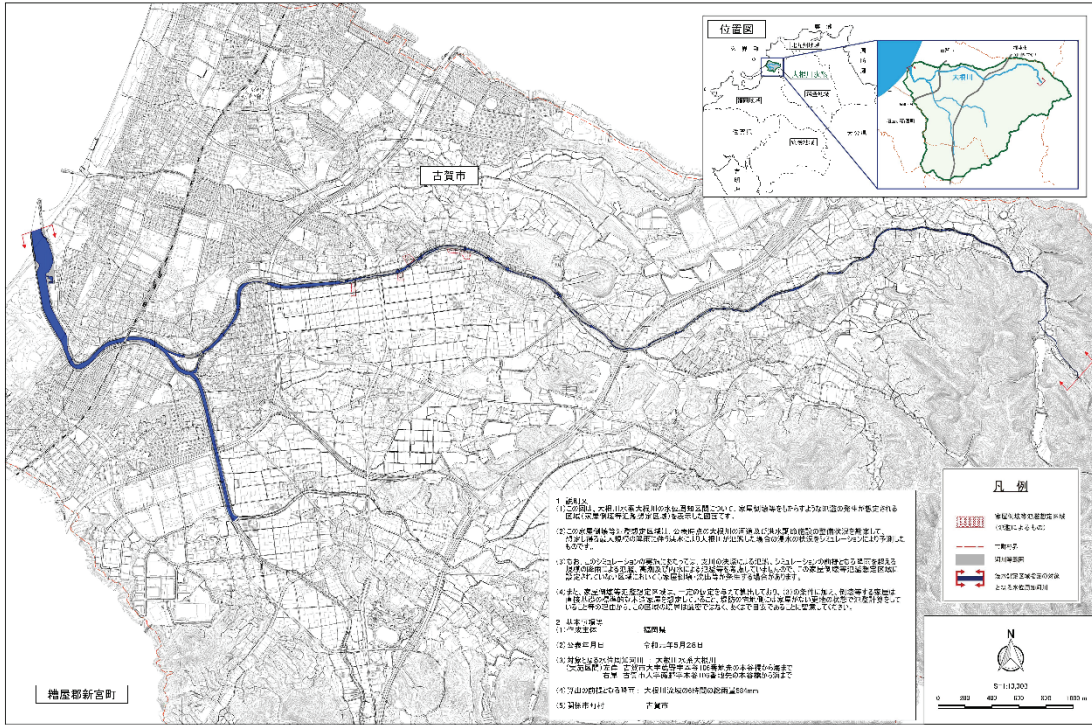
## (2) 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流、河岸浸食）

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食の発生が想定される区域です。

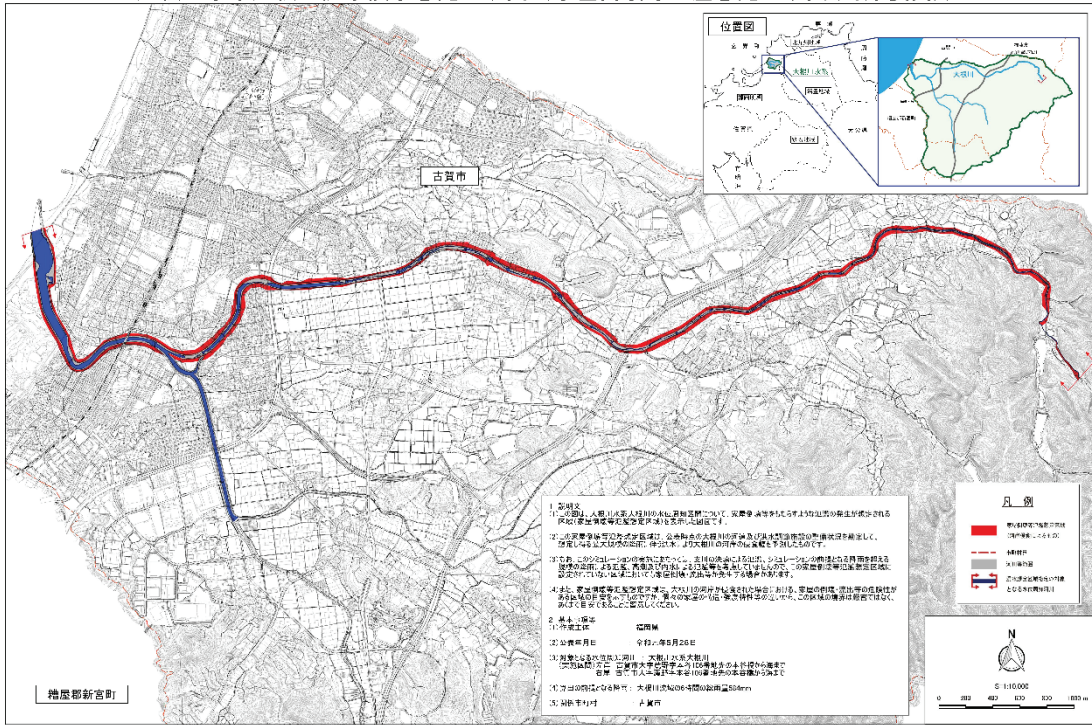
本市においては、大根川のほぼ全域の両岸に氾濫流、及び河岸侵食が指定されています。

### ▼家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）

大根川水系大根川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域図（氾濫流））



大根川水系大根川洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域図（河岸侵食））



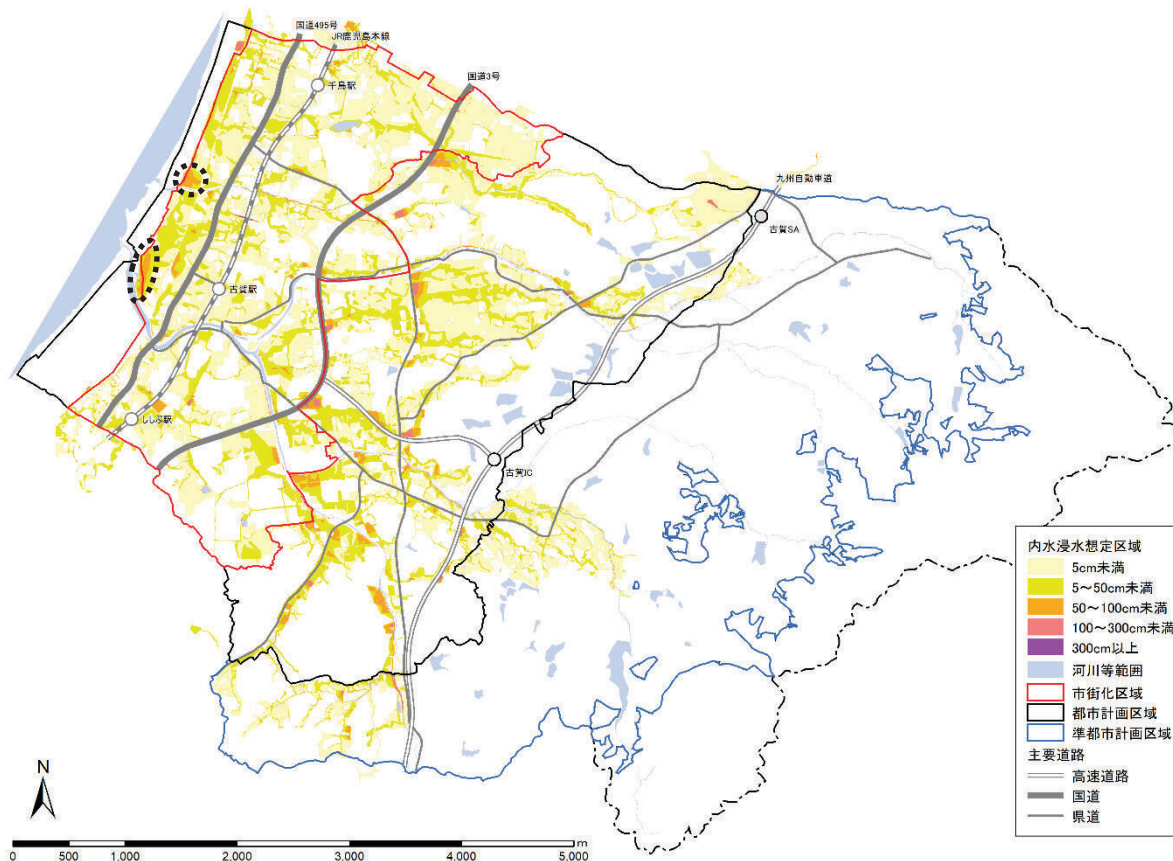
出典：家屋倒壊等氾濫想定区域【福岡県河川管理課】  
（大根川：令和元（2019）年5月28日）

## 5-2. 内水のリスク

内水浸水想定区域図は、雨水の排水能力を超える降雨により排水ができなくなり、水路等から水があふれて起きる浸水害（内水氾濫）によって浸水が想定される範囲や深さを示した図です。内水浸水想定区域図の算出は、想定最大規模降雨（153mm/時）を前提としています。

都市計画区域の各所で浸水が想定されていますが、床上浸水の目安となる0.5mを超える区域は、河川周辺の農地が多いものの、一部で住宅地（図中黒破線内）も含まれています。

### ▼内水浸水想定区域図



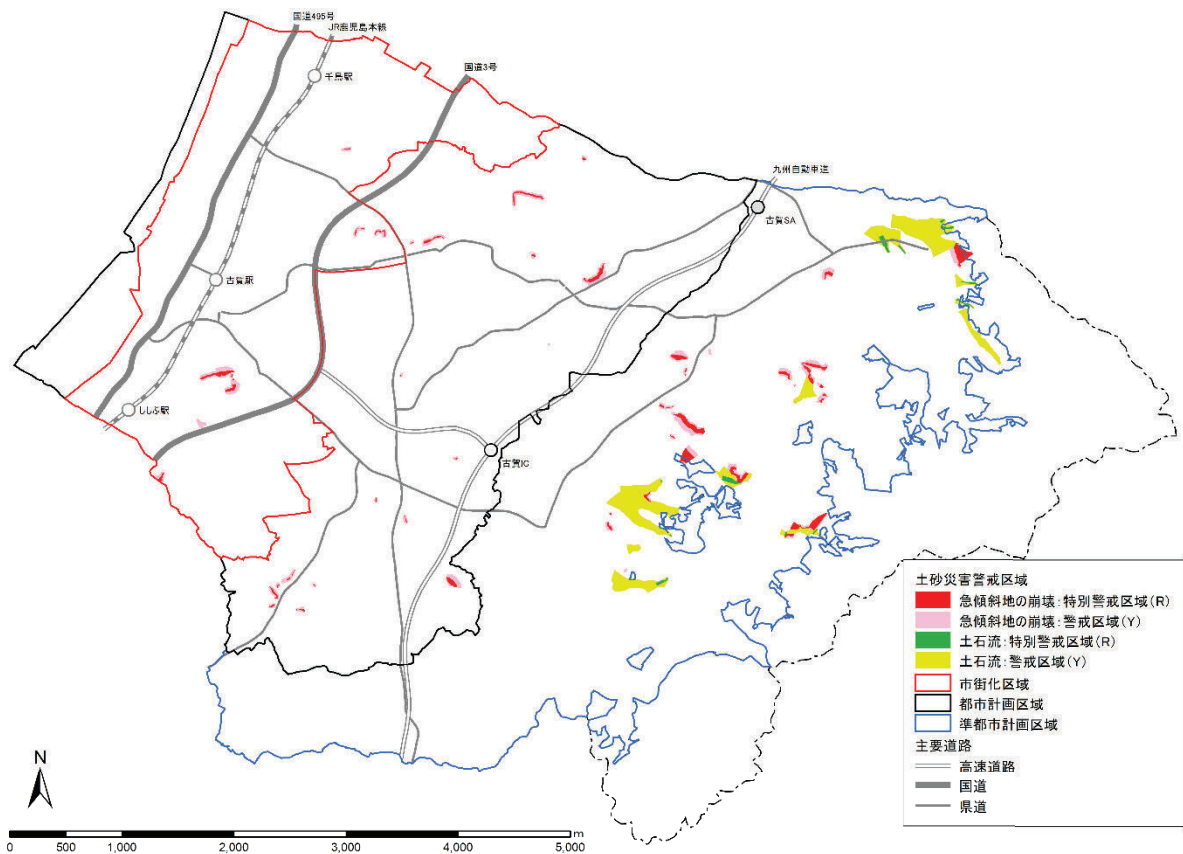
出典：古賀市総合防災マップ（令和7（2025）年3月）

### 5-3. 土砂災害のリスク

大雨時等に土石流、地すべり、急傾斜地の崩壊といった土砂災害のおそれがある区域は、土砂災害警戒区域に指定されています。土砂災害警戒区域のうち、急傾斜地の崩壊等が発生した場合に建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域は、土砂災害特別警戒区域に指定されており、開発行為に制限がかけられています。

本市においては、「土石流」と「急傾斜地の崩壊」が指定されており、準都市計画区域内に多く分布しています。市街化区域では、丘陵部の一部で「急傾斜地の崩壊」が指定されており、公共施設が隣接する土地も指定されています。

▼土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域図



出典：福岡県オープンデータ【福岡県砂防課】

#### ■土砂災害特別警戒区域等の指定箇所

	市街化 区域	市街化 調整 区域	準都市 計画 区域	都市計 画区域 外	総計
土砂災害警戒区域（土石流）	—	—	19	1	20
土砂災害特別警戒区域（土石流）	—	—	13	2	15
土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊）	8	19	23	—	50
土砂災害特別警戒区域（急傾斜地の崩壊）	10	20	23	—	53
総 計	18	39	78	3	138

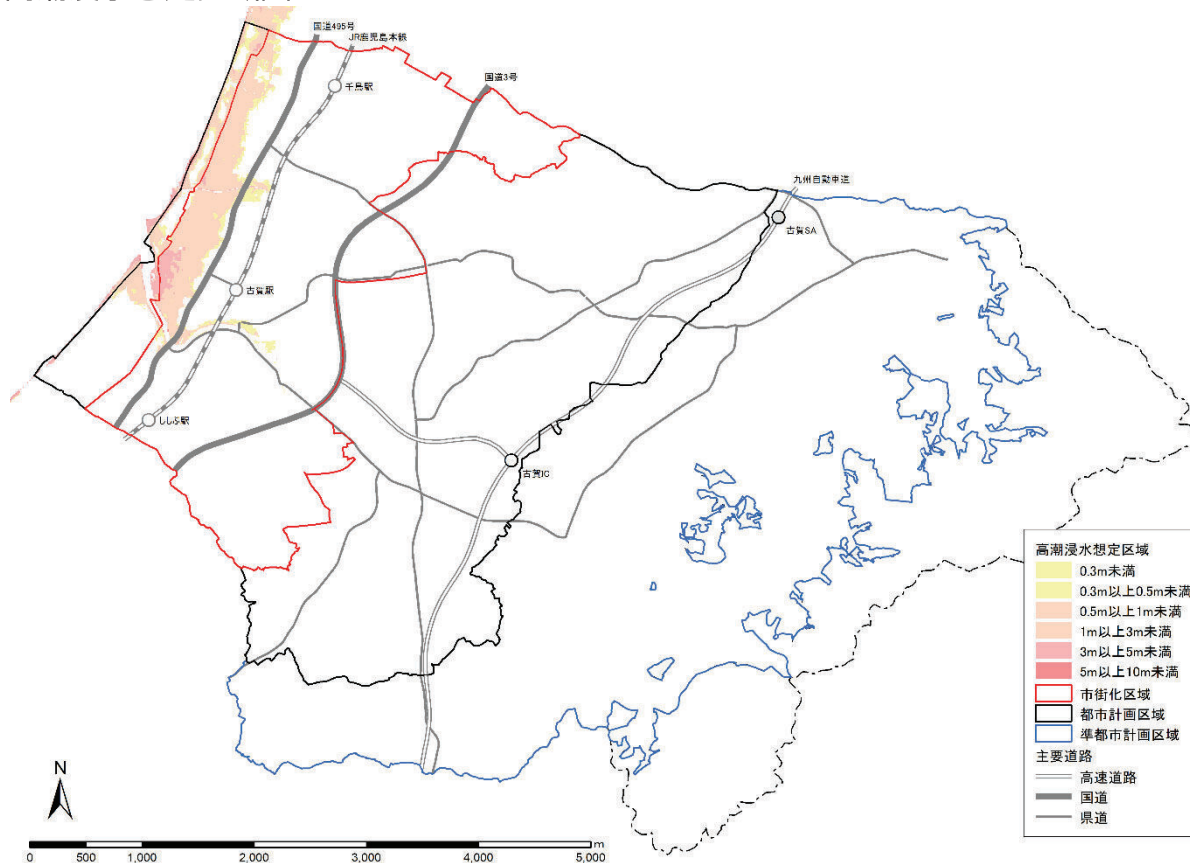
## 5-4. 高潮のリスク

高潮とは、台風や低気圧接近時の気圧低下による海面の吸い上げや風による吹き寄せにより海岸部の海面が上昇する現象で、海水が陸地に流れ込み、一旦浸水が始まると、低地には浸水被害が一気に広がるおそれがあります。

本市においては、津波と同様に海岸部に高潮浸水想定区域が指定されています。市街化区域においては、国道495号西側の市街地を含む範囲で想定されています。

想定される範囲の多くは浸水深1.0m以上～3.0m未満となっていますが、大根川河口付近では浸水深3.0m以上～5.0m未満も見られます。

### ▼高潮浸水想定区域図



出典：高潮浸水想定区域図（平成30（2018）年3月30日）

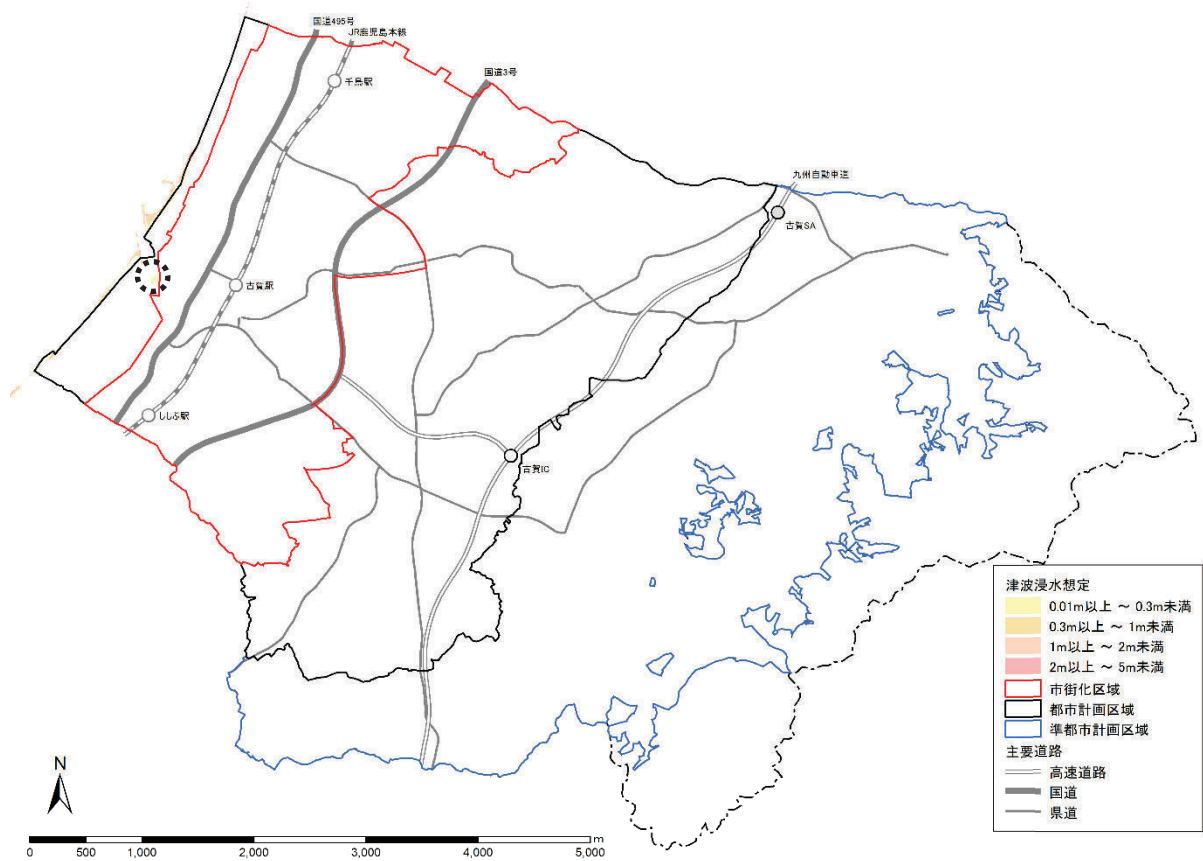
### 5-5. 津波のリスク

津波浸水想定とは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

本市においては、津波浸水は、海岸沿いに1m未満の浸水深が想定されています。

海岸以外の箇所としては、大根川の河口近くの花鶴ヶ浜公園付近（図中黒破線内）に0.01m以上～0.3m未満の浸水深が想定されています。

▼津波浸水想定図



出典：福岡県オープンデータ

## 5-6. 地震のリスク

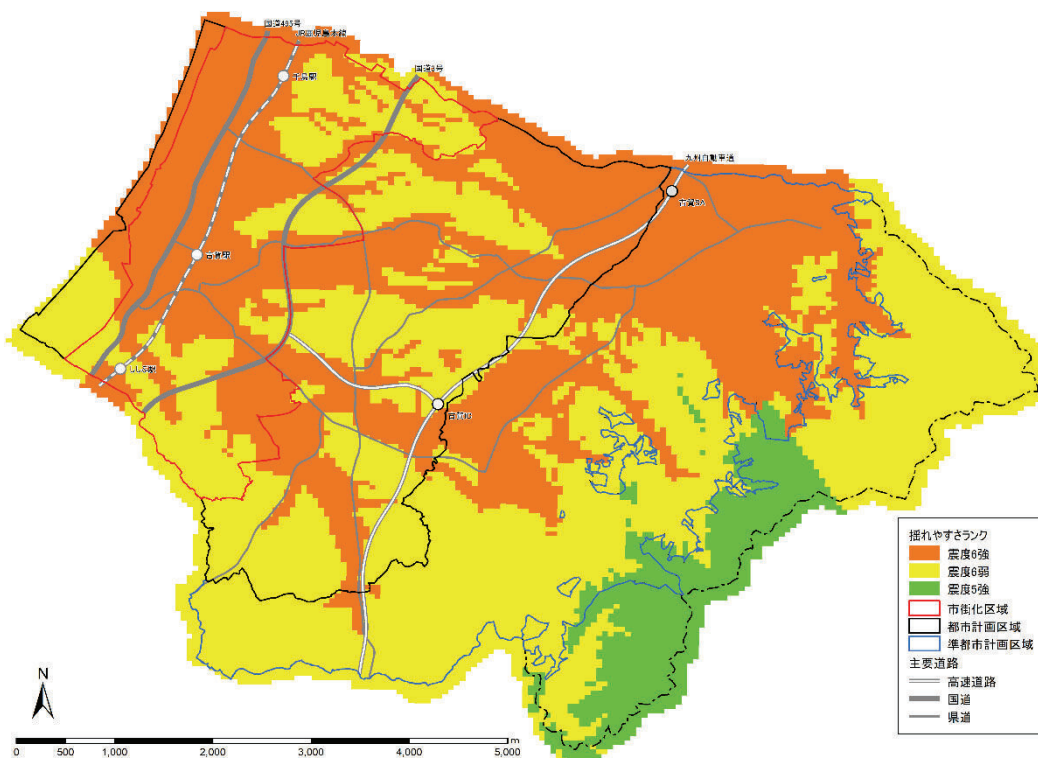
平成25（2013）年に本市で作成した地震ハザードマップ（揺れやすさマップ）は、本市周辺の主要活断層による3ケースの地震と直下型地震の計4ケースを想定し、それぞれの計算結果の最大値を表しています。

耐震性の低い木造建物の倒壊等が多くなると予想される「震度6強」が、市東部の河川上流から市の拠点であるJR古賀駅周辺やJR千鳥駅周辺を含む市西部の市街地まで想定されています。

《想定した地震の規模》

- ①西山断層(M=7.3)
- ②宇美断層(M=6.9)
- ③警固断層(M=7.2)
- ④直下型地震(M=6.9)

### ▼揺れやすさマップ



出典：古賀市総合防災マップ（令和4（2022）年3月）

震度 5 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなると歩くことが難しい。</li> <li>●棚にある食器類や本など、落ちるものが増える。</li> <li>●固定していない家具が倒れることがある。</li> <li>●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>
震度 6 弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾いたり、倒れたりすることがある。</li> </ul>
震度 6 強	<ul style="list-style-type: none"> <li>●はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。</li> <li>●固定されていない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。</li> <li>●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりやがけ崩れが発生することがある。</li> </ul>

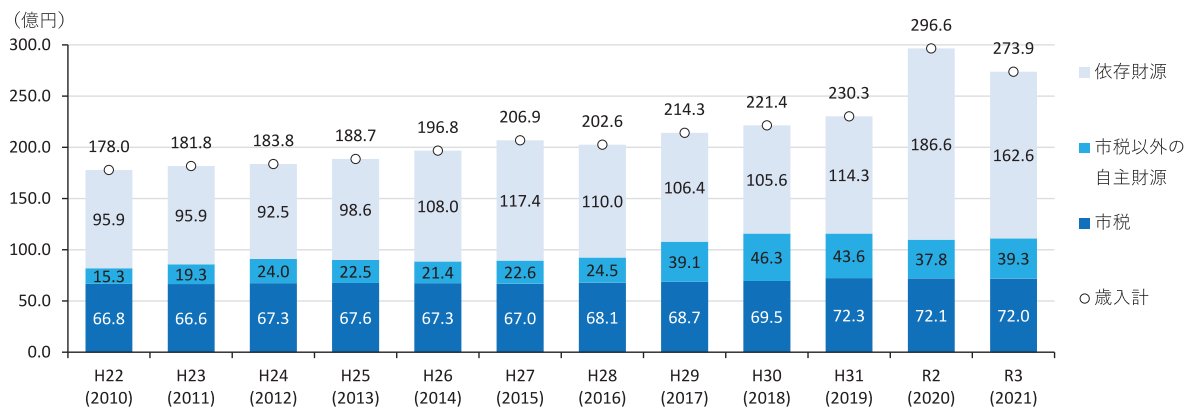
## 6. 財政状況

### 6-1. 歳入

自主財源の根幹である市税収入は、平成22（2010）年度から令和3（2021）年度にかけて、若干の増減はあるものの全体としては微増傾向にあり、近年は約72億円となっています。

しかしながら今後は、生産年齢人口の減少に伴い、市税収入の伸びが見込めないことが予想されます。

#### ▼普通会計決算（歳入）の推移（年度集計）



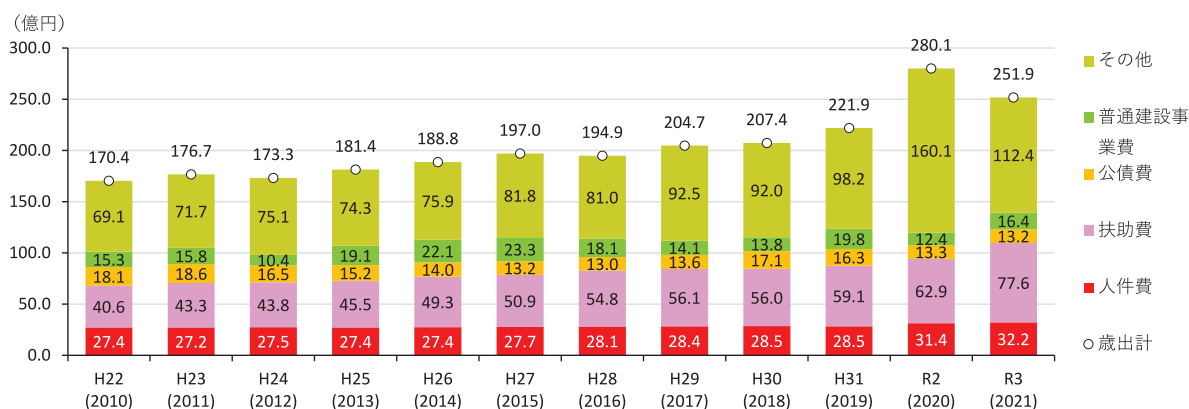
出典：庁内資料（財政状況資料集）

### 6-2. 歳出

扶助費が年々増加しており、平成22（2010）年度の40.6億円から、令和3（2021）年度では77.6億円と2倍近くになっています。高齢化の進展により、扶助費など社会保障費の財政負担は今後も更に増加することが予想されます。

普通建設事業費は、概ね10億円～20億円の間で推移していますが、市税収入の伸びが見込めない中、扶助費の増大という厳しい財政運営状況により、今後さらに普通建設事業費などの確保が難しくなる見込みです。

#### ▼普通会計決算（歳出）の推移（年度集計）

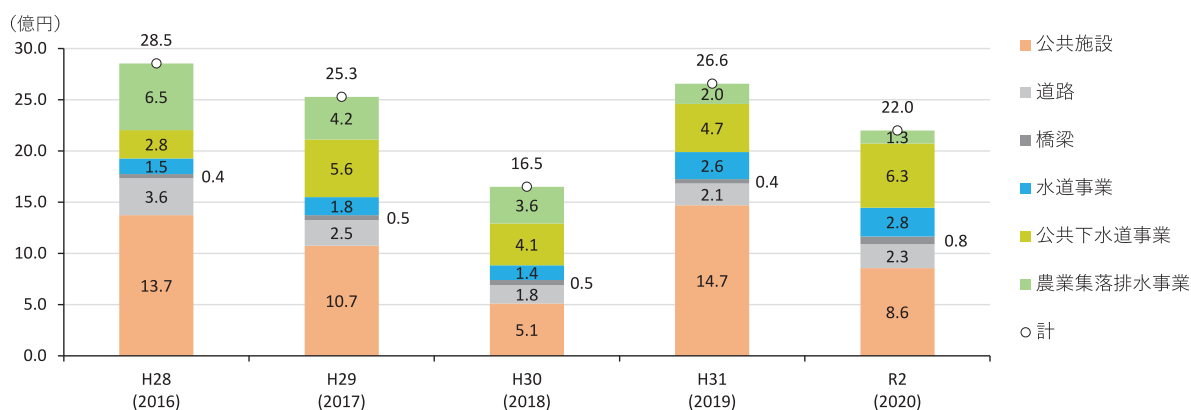


出典：庁内資料（財政状況資料集）

## 7. 公的不動産の状況

「古賀市公共施設等総合管理計画（令和4（2022）年4月改訂）」によると、公共施設（建築物）や道路、橋梁といったインフラ整備への投資的経費は、平成28（2016）年度から令和2（2020）年度の5ヶ年合計で118.9億円となっており、うち4割以上にあたる52.8億円が公共施設（建築物）への投資的経費です。

### ▼投資的経費の推移（年度集計）



出典：古賀市公共施設等総合管理計画（令和4（2022）年4月改訂）

### ▼将来の維持費用の見通し（将来：令和38（2056）年度まで）

区分	分類	投資的経費の推移（億円）（上記グラフに対応）							将来の維持費用の試算（億円）		
		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)	5ヶ年計	年平均	区別年平均 (A)	区別年平均 (B)	年平均不足額 (B-A)
建築物	公共施設	13.7	10.7	5.1	14.7	8.6	52.8	10.6	10.6	12.3	1.7
インフラ	道路	3.6	2.5	1.8	2.1	2.3	12.4	2.5	13.2	18.2	5.0
	橋梁	0.4	0.5	0.5	0.4	0.8	2.5	0.5			
	水道事業	1.5	1.8	1.4	2.6	2.8	10.2	2.0			
	公共下水道事業	2.8	5.6	4.1	4.7	6.3	23.4	4.7			
	農業集落排水事業	6.5	4.2	3.6	2.0	1.3	17.5	3.5			
	計	28.5	25.3	16.5	26.6	22.0	118.9	23.8	23.8	30.4	6.6

出典：古賀市公共施設等総合管理計画（令和4（2022）年4月改訂）

その投資的経費実績の年平均額を見ると、公共施設（建築物）が10.6億円、インフラが13.2億円です。

一方、将来（令和38（2056）年度まで）の維持費用試算の年平均額を見ると、公共施設（建築物）が12.3億円、インフラが18.2億円となっており、いずれも、将来にわたって維持費用が増大する試算となっています。

このような厳しい見通しに対応するため、同計画では、「（1）量の見直し（施設総量の適正化）」「（2）質の見直し（施設の安全性や利便性の向上）」「（3）コストの見直し（持続可能な財政運営の中で公共施設等のサービス提供）」の3つの視点から、公共施設とインフラの見直しを図ることが示されています。